

鳥取砂丘の昆虫類目録

鶴崎展巨¹・林 成多²・宮永龍一³・一澤 圭⁴・川上 靖⁴

¹ 〒 680-8551 鳥取市湖山町南 4-101 鳥取大学地域学部生物学研究室

E-mail: ntsuru@rstu.jp

² 〒 691-0076 出雲市園町沖ノ島 1659-5 ホシザキグリーン財団

E-mail: hgf-haya@green-f.or.jp

³ 〒 690-8504 松江市西川津町 1060 鳥根大学生物資源科学部動物生態学研究室

E-mail: miyanaga@life.shimane-u.ac.jp

⁴ 〒 680-0011 鳥取市東町 2 丁目 124 鳥取県立博物館

E-mail: kawakami@pref.tottori.jp

E-mail: ichisawak@pref.tottori.jp

Nobuo TSURUSAKI¹, Masakazu HAYASHI², Ryoichi MIYANAGA³, Kei ICHISAWA⁴, and Yasushi KAWAKAMI⁴ (¹Laboratory of Biology, Faculty of Regional Sciences, Tottori University, Koyama-Minami 4-101, Tottori, 680-8551 Japan; ²Hoshizaki Green Foundation, Okinoshima 1659-5, Sono, Izumo, Shimane Pref., 691-0076 Japan; ³Faculty of Life and Environmental Science, Shimane University, Matsue, Shimane Pref., 690-8504 Japan; ⁴Tottori Prefectural Museum, Higashi-machi 2-124, Tottori, 680-0011 Japan;): **Catalogue of the insects of Tottori Sand Dunes, Honshu, Japan.**

要旨 — 鳥取砂丘 (鳥取市) の昆虫相については過去の文献記録と新規確認のデータを総合して、佐藤・鶴崎 (2010: 鳥取県立博物館研究報告 47: 45–81) が予報として 13 目 128 科 600 種 (周辺地域を含めたりスト掲載種は 14 目 145 科 680 種) の存在をあきらかにしている。本報告では、その後の文献記録や新たに確認された標本 (目撃による確認, および, 前回, 積み残した記録を含む) のデータを加え、鳥取砂丘 (狭義) の昆虫 (狭義) として 13 目 146 科 679 種の記録をまとめた (周辺地域を含めた掲載種は 14 目 153 科 750 種)。52 種は今回、鳥取砂丘から新たに確認されたものである。このリストは環境省版レッドリスト (2007) 掲載種を 8 種、鳥取県版レッドデータブック改訂版 (2012) の掲載種を 17 種含んでいる。鳥取砂丘がとくに海浜性の希少昆虫の生息地として重要であることを示している。また、外来種は 12 種である。

キーワード — 鳥取砂丘, 昆虫, 海浜性種, 絶滅危惧種, 種リスト

Abstract — This is a revised version of catalogue of insect species (insects *s. str.* = Ectognatha) of Tottori Sand Dunes in Tottori City to the preliminary list provided by Sato and Tsurusaki in 2010 (Preliminary report of insect fauna occurring in the Tottori Sand Dunes. Bulletin of the Tottori Prefectural Museum, 47: 45–81). The list consists of a total of 679 species belonging to 146 families of 13 orders (750 species, 153 families, 14 orders when records from adjacent areas are included). Of these, a total of 52 species are the insects newly recorded from the Tottori Sand Dunes. The list also includes many species listed on the red lists (RL of the Environment Ministry of Japan 2007 = 8 species; RL of Tottori Prefecture 2012 = 17 species).

Key words — insects, catalogue, fauna, Tottori Sand Dunes, RDB

はじめに

鳥取砂丘からはこれまでに約 600 種の昆虫が記録されているが、この数は砂丘の周囲の防風林に生息する森林性の昆虫を数多く含んだものであり、その大部分が国立公園の特別保護区として指定されている砂丘内部の昆虫相については研究が遅れている(佐藤・鶴崎 2010)。2010 年 10 月に山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークへの加盟認定を受けて以来、鳥取砂丘の動植物を含めた自然環境の教育・観光への活用がますます求められるところであるが、砂丘内で観察できる昆虫類の中には生活史はもとより、種名も即座に同定できないものが多い。この現状を改善するため、著者らは 2010 年(一部は 2009 年)から浦富海岸の鴨ヶ磯と城原海岸、ならびに鳥取砂丘の主要部分の 3 カ所の特別保護区の調査許可をとり、鳥取砂丘と鳥取県内の他の山陰海岸ジオパークエリアの昆虫相を調査してきた。解明度はまだ十分ではないが、鳥取砂丘から新たに確認された種も 50 を超えたので、ここに、佐藤・鶴崎(2010)のリストの改訂版として、ここに全リストを掲載する。また、現地での自然観察の参考として役立つよう、鳥取砂丘でよく見られる種については、現在判明している範囲で若干の解説も加える。

鳥取砂丘周辺の昆虫リスト

Annotated catalogue of insects of the Tottori Sand Dunes

1) 対象地域: 記録の採録範囲は原則として浜坂砂丘(千代川河口の右岸から砂丘海水浴場付近まで)に限定した。南側は多鯨ヶ池の北をとる県道湯山鳥取線(県道 265 号線: 旧国道 9 号線)以北であるが、多鯨ヶ池とその湖畔の記録は含めている(詳細は佐藤・鶴崎 2010 を参照)。広義の「鳥取砂丘」が調査範囲とされている 1930 年代の記録について、浜坂砂丘以外の記録も排除せず、参考記録としてとりあげているのも佐藤・鶴崎(2010)と同様である(浜坂砂丘以外の記録しかない種には和名の直後に△を表示)。

2) 対象分類群と配列: 広義の昆虫(六脚虫綱 Hexapoda)のうちのうちトビムシ目、カマアシムシ目、コムシ目が含まれる内顎亜綱のうち、後 2 者については、調査不十分のため割愛した。またトビムシ目についても一澤(2012)に譲った。よって、本リストで扱っている昆虫は狭義のもの、つまり外顎亜綱(Ectognatha = Insecta)のみである。

配列はおおむね日本産昆虫総目録(平嶋義宏監修 1989: 科内での配列は原則としてアルファベット順)にしたがったが、各分類群の最近のモノグラフや図鑑での配列順(ふつう分類体系に添った配列)となっている場合がある。種の学

名および和名は九州大学農学部昆虫学研究室が公開している日本産昆虫目録データベース(MOKUROKU)(<http://konchudb.agr.agr.kyushu-u.ac.jp/mokuroku/index-j.html>)に準拠したが、その後改訂されているものについては、より新しい図鑑・モノグラフ類(たとえば、2007 - 2008 年に出版された北隆館新訂原色昆虫大図鑑, I - III など)にしたがった。

3) 凡例: 各種のデータは、種の学名、和名、標本(目撃)記録: 場所(個体数, 採集日付, 採集者名), 文献(文献に記録されている確認場所), 備考(必要に応じて)の順に記入されている。個体数(ex. = example(s))はとくに断らないかぎり成虫である。採集(目撃確認)者名の略記: NT = Nobuo Tsurusaki, MH = Masakazu Hayashi, RM = Ryoichi Miyana, KI = Kei Ichisawa, YK = Yasushi Kawakami, NT et al. = 2010 年の確認記録は、鶴崎展巨・田中佑希・森本宝・石田裕樹・山田恭平。文献の略記: S&T(2010) = 佐藤・鶴崎(2010), K&T(2011) = 岸本・鶴崎(2011), 小川ら(2012) = 小川弘展・野坂舞・橋井菜都美・横山瑞歩・鶴崎展巨(2012)。

種の和名の直後の記号: ● = 鳥取砂丘中央部(周囲の防風林の林縁の開放砂地部分。海浜性草本群落は含む)に生息する種。■ = 鳥取砂丘中央部の“オアシス”のプールまたは周囲の湿った砂地部分に比較的定常的にみられると考えられる種。M = 海浜性種(maritime species), △ = 狭義の鳥取砂丘(多鯨ヶ池を除いた浜坂砂丘)以外のみからの記録(灯火採集で記録された水生昆虫で、砂丘外からの飛来と考えられるものを含む)。

環境省 RDB = 環境省レッドリスト(2006/2007)掲載種; 鳥取県 RDB = 鳥取県レッドデータブック(初版 2002 / 改訂版 2012)。CR+EN = 絶滅危惧 I 類, VU = 絶滅危惧 II 類, NT = 準絶滅危惧, DD = 情報不足。

新たに採集された標本は、原則としてそれぞれの採集者(または同定確認者)の所属機関に収めている。

4) 記録の表示: 今回、本誌に同時掲載となる鳥取砂丘と浦富海岸周辺関係の節足動物相関係の報文で記録された種のうち、鳥取砂丘に関係する種のデータは本稿にも転載した。それらの報文で新記録となった種については、本稿でも同様に新記録として表示している。

Order EPHEMEROPTERA カゲロウ目

幼虫が水生である本目は、成虫が灯火に誘引される可能性はあるが、狭義の鳥取砂丘から記録されることはあまりなさそうである。

Family Ephemeridae モンカゲロウ科

1. *Ephemera japonica* McLachlan, 1875 フタスジモンカゲロ

ウ△. 文献: 文献: 東 (1939: 賀露神社付近).

2. *Ephemera strigata* Eaton, 1892 モンカゲロウ△. 文献: 文献: 東 (1939: 賀露神社西南).

Order ODONATA トンボ目

幼虫が水生なので、鳥取砂丘から記録されている種の大
半は多鯰ケ池産、一部は千代川 (十六本松) 産、あるいは
それら2カ所か周辺からの飛来個体である。ただし砂丘オ
アシスでの2011年の観察によると、ウスバキトンボとアオモ
ンイトトンボはオアシスのプールで産卵から羽化までいたっ
ていると考えられる (小川ら 2012 参照)。

Suborder Zygoptera 均翅亜目

Family Galopterygidae カワトンボ科

1. *Calopteryx atrata* Selys, 1853 ハグロトンボ. 文献: 高橋 (1962: 研究所付近).

Family Lestidae アオイトトンボ科

2. *Coperia annulata* (Selys, 1863) モノサシトンボ. 文献: 高橋 (1962: 十六本松), 平化 (1983: 多鯰ケ池), 英・英 (1996: 多鯰ケ池).
3. *Lestes sponsa* (Hansemann, 1823) アオイトトンボ△. 文献: 英・英 (1996: 多鯰ケ池).

Family Agrionidae イトトンボ科

4. *Cercion hieroglyphicum* (Brauer, 1865) セスジイトトンボ△. 多鯰ケ池 (1♂, 8.VIII.2010, NT). 文献: 日暮・祖田 (1998), 英・英 (1996: 多鯰ケ池).
5. *Cercion sieboldii* (Selys, 1876) オオイトトンボ. 文献: 猪股・石井 (1934: 松原付近), 東 (1939).
6. *Ischnura senegalensis* (Rambur, 1842) アオモンイトトンボ■. 多鯰ケ池 (1♂, 8.VIII.2010, NT). 文献: 小川ら (2012: 砂丘オアシス). 備考: 鳥取砂丘新記録. 鳥取県 RDB (2002, 2012 の両方で準絶滅危惧 NT). 本種は鳥取県東部での記録は少なく、これまでに鳥取市浜坂の旧袋川、湖山川、湖山池で生息が確認されているのみである (轟 2003)。今回、多鯰ケ池と砂丘オアシスで新たに確認された。砂丘オアシスでは7月から10月まで比較的多くみられ、1回は繁殖したと考えられる。
7. *Cercion calamarum calamarum* (Ris, 1916) クロイトトンボ△. 多鯰ケ池 (1♂, 8.VIII, NT). 文献: 日暮 (1993: 多鯰ケ池), 英・英 (1996: 多鯰ケ池).
8. *Aciagrion migratum* (Selys, 1876) ホソミイトトンボ. 文献: 高橋 (1962: 研究所付近, オアシス).
9. *Ischnura asiatica* Brauer, 1865 アジアイトトンボ. 文献: 高橋 (1962: 研究所付近), 野村 (1978). 日暮 (1993: 多鯰ケ

池), 英・英 (1996: 多鯰ケ池).

Family Aeschnidae ヤンマ科

10. *Gynacantha japonica* Barteneff, 1909 カトリヤンマ. 文献: 猪股・石井 (1934: 松原付近), 東 (1939: 浜村), 日暮・祖田 (1998).
11. *Anax parthenope julius* Brauer, 1865 ギンヤンマ. 文献: 高橋 (1962: 研究所付近), 英・英 (1996: 多鯰ケ池).
12. *Aeschnophlebia longistigma* Selys, 1883 アオヤンマ△. 文献: 平化 (1983: 多鯰ケ池). 備考: 鳥取県 RDB (2001, 2012: どちらも VU).

Family Gomphidae サナエトンボ科

13. *Asiagomphus pryeri* (Selys, 1883) キイロサナエ. 文献: 高橋 (1962: 十六本松付近). 備考: 鳥取県 RDB (NT).
14. *Sinogomphus flavolimbatus* (Oguma, 1926) ヒメサナエ△. 文献: 西村 (1952).
15. *Nihonogomphus viridis* Oguma, 1926 アオサナエ△. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近). 備考: 鳥取県 RDB (NT).
16. *Gomphus postocularis* Selys, 1869 ホンサナエ△. 文献: 英・英 (1996: 多鯰ケ池). 備考: 鳥取県 RDB (2001, 2012: どちらも NT).
17. *Sieboldius albardae* Selys, 1886 コオニヤンマ. 文献: 高橋 (1962: 研究所付近), 稲畑 (1962).
18. *Ictinogomphus clavatus* (Fabricius, 1775) ウチワヤンマ△. 多鯰ケ池 (1ex. 目撃, 8.VIII.2010). 文献: 西村 (1952), 高橋 (1962: 多鯰ケ池付近), 稲畑 (1962: 多鯰ケ池), 英・英 (1996: 多鯰ケ池).

Family Cordulegasteridae オニヤンマ科

19. *Anotogaster sieboldii* (Selys, 1854) オニヤンマ. 文献: 萩野・高見 (1963: 砂丘), 英・英 (1996: 多鯰ケ池).

Family Corduliidae エゾトンボ科

20. *Epopthalmia elegans* (Brauer, 1865) オオヤマトンボ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近), 英・英 (1996: 多鯰ケ池).
21. *Epiptera marginata* (Selys, 1883) (Selys, 1883) トラフトンボ. 文献: 東 (1939: 浜坂).
22. *Macromia amphigena amphigena* Selys, 1871 コヤマトンボ△. 文献: 英・英 (1996: 多鯰ケ池).

Family Libellulidae トンボ科

23. *Pantala flavescens* (Fabricius, 1798) ウスバキトンボ■. 文献: 文献: 東 (1939: 秋季多い), 高橋 (1962: 砂丘中央部), 野村 (1978), 英・英 (1996: 多鯰ケ池), 小川ら (2012: 砂丘オアシス). 備考: 熱帯・亜熱帯域に広く生息するが毎年北上し、本州でも5月頃から出現して池沼、水田、学校の

プールなどで数世代を繰り返すといわれる。高温期には産卵から孵化まで約5日、幼虫期間は25～30日(杉村ら1999)。2011年7月初旬にはオアシスで成虫の飛翔のみでなく、幼虫および幼虫の脱皮殻を確認した。オアシスのプールで1世代を経過することは確実である(小川ら2012)。

24. *Orthetrum albistylum speciosum* (Uhler, 1858) シオカラトンボ. 多鯰ヶ池 (1♂, 8.VIII.2010, NT). 文献: 高橋 (1962: 造林地), 野村 (1978). 平化 (1983: 多鯰ヶ池), 英・英 (1996: 多鯰ヶ池).
25. *Orthetrum triangulare melania* (Selys, 1883) オオシオカラトンボ. 文献: 東 (1939: 夏砂丘上に多い), 高橋 (1962: 研究所付近), 日暮 (1993), 英・英 (1996: 多鯰ヶ池).
26. *Orthetrum japonicum japonicum* (Uhler, 1858) シオヤトンボ. 文献: 東 (1939: 夏砂丘上に多い), 英・英 (1996: 多鯰ヶ池).
27. *Deielia phaon* (Selys, 1883) コフキトンボ△. 多鯰ヶ池 (1♂, 8.VIII.2010, NT). 文献: 平化 (1983), 日暮 (1993: 多鯰ヶ池), 英・英 (1996: 多鯰ヶ池).
28. *Crocothemis servilia mariannae* Kiauta, 1983 ショウジョウトンボ. 多鯰ヶ池 (2♂, 8.VIII.2010, NT). 文献: 高橋 (1962: 研究所付近), 平化 (1983: 多鯰ヶ池), 英・英 (1996: 多鯰ヶ池).
29. *Sympetrum darwinianum* (Selys, 1883) ナツアカネ. 文献: 東 (1939: 賀露, 浜坂, 秋季砂丘上に群飛), 西村 (1952), 日暮 (1993: 多鯰ヶ池), 英・英 (1996: 多鯰ヶ池).
30. *Sympetrum frequens* (Selys, 1883) アキアカネ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近), 東 (1939: 浜坂, 秋季砂丘上に群飛する), 西村 (1952), 高橋 (1962), 野村 (1978), 英・英 (1996: 多鯰ヶ池).
31. *Sympetrum eroticum eroticum* (Selys, 1883) マユタテアカネ△. 文献: 西村 (1952).
32. *Sympetrum risi risi* Bartenef, 1914 リスアカネ. 文献: 日暮 (1993), 英・英 (1996: 多鯰ヶ池), 小川ら (2012: 南側県営駐車場付近).
33. *Sympetrum parvulum* (Bartenef, 1912) ヒメアカネ△. 文献: 衣笠 (1972: 多鯰ヶ池).
34. *Sympetrum croceolum* Selys, 1883 キトンボ△. 文献: 衣笠 (1972).
35. *Sympetrum cordulegaster* (Selys, 1883) オナガアカネ△. 文献: 英・英 (1996: 多鯰ヶ池). 備考: 大陸からの迷入種.
36. *Sympetrum infuscatum* (Selys, 1883) ノシメトンボ△. 文献: 英・英 (1996: 多鯰ヶ池).
37. *Pseudothemis zonata* Burmeister, 1839 コシアキトンボ. 多鯰ヶ池 (1♂, 8.VIII.2010, NT). 文献: 高橋 (1962: 研究所内, 砂丘上), 平化 (1983: 多鯰ヶ池), 英・英 (1996: 多鯰ヶ池).
38. *Lyriothemis pachygastra* (Selys, 1878) ハラビロトンボ△.

文献: 東 (1939: 浜村, 賀露), 平化 (1983: 多鯰ヶ池), 英・英 (1996: 多鯰ヶ池).

39. *Rhyothemis fuliginosa* Selys, 1883 チョウトンボ△. 多鯰ヶ池 (1♂, 8.VIII.2010, NT). 文献: 生駒 (1955), 高橋 (1962: 多鯰ヶ池), 英・英 (1996: 多鯰ヶ池).

Order DERMAPTERA ハサミムシ目

Family Labiduridae オオハサミムシ科

1. *Labidura riparia* (Pallas, 1773) オオハサミムシ●. 文献: 東 (1939), 野村 (1978), 佐藤ら (2007), S&T (2010), 小川ら (2012: オアシス周辺). 備考: 河川河原などにもみられる.

Family Anisolabididae ハサミムシ科

2. *Anisolabella marginalis* (Dohrn, 1864) ヒゲジロハサミムシ. 文献: 西村 (1952), 佐藤ら (2007: 十六本松).

Order PHASMIDA ナナフシ目

Family Phasmatidae ナナフシ科

1. *Micadina phlucaenoides* (Rehn, 1904) ニホントビナナフシ. 文献: S&T (2010: 砂丘西側クロマツ・コナラ林).

Order ORTHOPTERA バッタ目 (直翅目)

Suborder Ensifera コオロギ亜目

Family Rhaphidophoridae カマドウマ科

1. *Diastrammena apicalis* Brunner, 1888 カマドウマ. 文献: S&T (2010: 一里松砂丘入口).
2. *Tachycines asynamoros* Adelung, 1902 クラズミウマ. 文献: S&T (2010: 砂丘周辺クロマツ林).

Family Tettigoniidae キリギリス科

3. *Tettigonia orientalis* Uvarov, 1924 ヤブキリ. 文献: S&T (2010: 砂丘入口).
4. *Tettigonia yama* Furukawa, 1938 ヤマヤブキリ. 文献: S&T (2010: 砂丘入口).
5. *Eobiana engelhardti subtropica* (Bey-Bienko, 1949) ヒメギス. 文献: 小川ら (2012: 砂丘オアシス). 備考: 鳥取砂丘新記録。湿った草地に生息する種。
6. *Gampsocleis buergeri* (de Haan, 1842) キリギリス. 文献: 井上 (1998), 佐藤ら (2007: 浜坂).
7. *Pseudorhynchus japonicus* Shiraki, 1930 カヤキリ. 文献: 井上 (1998), S&T (2010: 砂丘入口草地).
8. *Homorocoryphus lineosus* (Walker, 1869) クサキリ. 文献: 佐藤ら (2007: 浜坂), S&T (2010: 砂丘入口草地).
9. *Euconocephalus thunbergii* (Stal, 1874) クビキリギス. 文献: 東 (1939), S&T (2010: 砂丘入口).
10. *Conocephalus maculatus* (Le Guillou, 1841) ホシササキリ. 文献: 佐藤ら (2007: 浜坂), 小川ら (2012: 砂丘東側～オ

アシス).

11. *Conocephalus chinensis* (Redtenbacher, 1891) ウスイロササキリ. 文献: 佐藤ら (2007: 浜坂), 小川ら (2012: 鳥取砂丘オアシス).
12. *Conocephalus gladius* (Redtenbacher, 1891) オナガササキリ. 文献: 高橋 (1962), 佐藤ら (2007: 浜坂), S&T (2010: 砂丘入口草地).
13. *Conocephalus melas* (de Haan, 1842) ササキリ. 文献: S&T (2010: 砂丘入口林床).
14. *Hexacentrus hareyamai* Furukawa, 1941 ハヤシノウマオイ. 文献: S&T (2010: 砂丘入口).

Family Meconematidae ササキリモドキ科

15. *Xiphidiopsis suzukii* (Matsumura & Shiraki, 1908) ササキリモドキ. 文献: 佐藤ら (2007: 浜坂).

Family Phaneropteridae ツコムシ科

16. *Phanoptera falcata* (Poda, 1761) ツコムシ. 文献: 高橋 (1962), S&T (2010: 砂丘入口草地), 小川ら (2012: オアシス周辺, 南側県営駐車場付近).
17. *Ducetia japonica* (Thunberg, 1815) セスジツコムシ. 文献: S&T (2010: 砂丘入口林床).
18. *Holochlora longifissa* Matsumura & Shiraki, 1908 ヤマクダマキモドキ. 文献: S&T (2010: 砂丘入口, 砂丘中心).

Family Gryllidae コオロギ科

19. *Teleogryllus emma* (Ohmachi & Matsuura, 1951) エンマコオロギ. 文献: 東 (1939), 高橋 (1962), 佐藤ら (2007: 浜坂千代川河川敷), S&T (2010: 砂丘入口草地), 小川ら (2012: オアシス周辺, 南側県営駐車場付近).
20. *Loxoblemmus campestris* Matsuura, 1988 ハラオカメコオロギ. 文献: S&T (2010: 記録: 砂丘入口草地).
21. *Velarifictorus mikado* (Saussure, 1877) ツヅレサセコオロギ. 文献: 佐藤ら (2007: 浜坂), S&T (2010: 砂丘入口草地).

Family Eneopteridae マツムシ科

22. *Xenogryllus marmoratus* (de Haan, 1842) マツムシ. 文献: 佐藤ら (2007: 浜坂).
23. *Trujalia hibinonis* (Matsumura, 1917) アオマツムシ. 文献: 小川ら (2012: 鳥取砂丘東部砂丘入口). 備考: 鳥取砂丘新記録. 外来種.
24. *Homoeogryllus japonicus* (de Haan, 1842) スズムシ. 文献: 佐藤ら (2007: 浜坂).
25. *Oecanthus indicus* Saussure, 1878 カンタン. 文献: S&T (2010: 砂丘入口). 備考: 日本生態学会 (2002) の外来種リストに掲載されているが, 在来説もある.
26. *Oecanthus euryelytra* Ichikawa, 2001 ヒロバネカンタン●.

文献: 野村 (1978), 小林 (1993: 林縁から海岸近くまで), 井上 (1998), 佐藤ら (2007: 浜坂), S&T (2010: 砂丘入口).

Family Trigonidiidae ヒバリモドキ科

27. *Paratrigonidium bifasciatum* Shiraki, 1911 クサヒバリ. 備考: 砂丘入口. 文献: S&T (2010: 砂丘入口).
28. *Trigonidium japonicum* Ichikawa, 2001 キアシヒバリモドキ (図 1A). 砂丘入口草地 (1 ex. 写真, 27.V.2009, YK). 文献: S&T (2010: 砂丘入口草地).
29. *Pteronemobius nigrofasciatus* (Matsumura, 1904) マダラスズ. 文献: 東 (1939), 西村 (1952), S&T (2010: 砂丘入口草地). 小川ら (2012: 砂丘東側~オアシス).
30. *Pteronemobius csikii* (Bolivar, 1901) ハマスズ● M. 砂丘 (1 終齢幼虫写真, 20.VI.2010, YK). 文献: 高橋 (1962), 野村 (1978), 小林 (1993), 井上 (1998), 佐藤ら (2007: 浜坂), S&T (2010), 小川ら (2012: 南側県営駐車場付近, 砂丘オアシス周辺). 備考: 浜坂から砂丘中心までの海浜草本群落付近の広範囲に生息. 鳥取県 RDB (2002. 2012: NT). 年 2 化性.
31. *Pteronemobius mikado* (Shiraki, 1911) シバズ. 文献: S&T (2010: 砂丘入口草地).
32. *Pteronemobius flavoantennalis* (Shiraki, 1911) ヒゲシロスズ. 文献: S&T (2010: 砂丘入口草地).

Family Mogoplistidae カネタタキ科

33. *Ornebius kanetataki* (Matsumura, 1904) カネタタキ. 文献: 佐藤ら (2007: 浜坂), S&T (2010: 砂丘入口, 多数).

Family Gryllotalpidae ケラ科

34. *Gryllotalpa orientalis* Burmeister, 1839 ケラ (図 1B). オアシス (1 幼虫写真, 30.I.2012, 阿部千春・音田研二郎). 文献: 東 (1939: 砂丘縁辺, オアシス付近).

Suborder Caelifera バッタ亜目

Family Tridactylidae ノミバッタ科

35. *Xya japonica* (de Haan, 1842) ノミバッタ. 文献: 東 (1939: 砂丘縁辺の草中).

Family Tetrigidae ヒシバッタ科

36. *Tetrix japonica* (Bolivar, 1887) ハラヒシバッタ. 砂丘入口. 文献: 西村 (1952: 和名ヒシバッタとのみ記録).

Family Pyrgomorphidae オンブバッタ科

37. *Atractomorpha lata* (Motschulsky, 1866) オンブバッタ△. 文献: 東 (1939: 浜村砂丘).

Family Acrididae バッタ科



図 1. 鳥取砂丘の昆虫 . A: *Trigonidium japonicum* キアシヒバリモドキ (ヒバリモドキ科) (鳥取砂丘入口草地, 27.II.2009, 撮影: YK). B: *Gryllotalpa orientalis* ケラ (ケラ科) と *Paederus fuscipes* アオバアリガタハネカクシ (下) (ハネカクシ科) (オアシス, 30.I.2012, 撮影: 阿部千春). C: *Staltia maculata* コカマキリ (カマキリ科) (砂丘西側林縁, 8.XI.2011, 撮影: NT). D: *Tenodera aridifolia* オオカマキリ ♀ と交尾中の頭部のない ♂ (砂丘入口草地 (18.X.2011, 撮影: NT)).

Fig. 1. A: *Trigonidium japonicum* (Trigonidiidae) (Entrance of Tottori Sand Dunes (27.V.2009, Photo by YK). B: *Gryllotalpa orientalis* (Gryllotalpidae) and *Paederus fuscipes* (below) (Staphylinidae) (“Oasis”, 30.O.2012. Photo by Chiharu Abe). C: *Staltia maculata* (Mantidae)(Western border of Tottori Sand Dunes (8.XI.2011, NT). D: *Tenodera aridifolia* (Mantidae) (Entrance of Tottori Sand Dunes, 18.X.2011, Photo by NT).

38. *Patanga japonica* (Bolívar, 1898) ツチイナゴ. 文献: 小川ら (2012: 砂丘東側～オアシス). 備考: 鳥取砂丘新記録.

39. *Oxya yezoensis* Shiraki, 1919. コバネイナゴ. 文献: 小川ら (2012: 砂丘オアシス). 備考: 鳥取砂丘新記録.

40. *Oxya japonica japonica* (Thunberg, 1824) ハネナガイナゴ △. 文献: 東 (1939: 浜坂, 賀露), 佐藤ら (2007: 浜坂千代川河川敷).

41. *Shirakiacris shirakii* (Bolívar, 1914) セグロイナゴ ●. 文献:

佐藤ら (2011: 砂丘南西部林縁付近). 小川ら (2012: 南側県営駐車場付近, 砂丘西側林縁). 備考: 鳥取県 RDB (2002, 2012: DD). 備考: 佐藤ら (2011) が鳥取砂丘内で 2010 年に本種を確認している場所は, 小川ら (2012) が 2011 年に確認した「南側県営駐車場付近」と同じである. ここはクロマツ疎林内の開けた歩道沿いであるが, 砂丘西側の林縁に沿う開放砂地でも確認した.

42. *Acrida cinerea* (Thunberg, 1815) ショウリョウバッタ. 文

献: 東 (1939), 高橋 (1962), 野村 (1978), 井上 (1998), S&T (2010: 砂丘入口草地).

43. *Gonista bicolor* (de Haan, 1842) ショウリョウバッタモドキ △. 文献: 東 (1939: 賀露神社付近). 備考: 鳥取県 RDB (2002 DD/ 2012 NT).

44. *Chorthippus latipennis* (Bolivar, 1898) ヒロバネヒナバッタ. 文献: S&T (2010: 砂丘入口~砂地).

45. *Stethophyma magister* (Rehn, 1902) ツマゲロバッタ (ツマグロイナゴ) △. 文献: 東 (1939: 賀露).

46. *Aiolopus tamulus* (Fabricius, 1798) マダラバッタ. 文献: 高橋 (1962), 井上 (1998), 佐藤ら (2007, 浜坂千代川河川敷), 小川ら (2012: 砂丘東側~オアシス周辺).

47. *Aiolopus japonicus* (Shiraki, 1910) ヤマトマダラバッタ ● M. 砂丘 (2 ♀写真, 29.VII.2011, YK: 緑色型). 文献: S&T (2010). 小川ら (2012: 西側林縁沿い, 砂丘オアシス周辺, 砂丘東側~オアシス, 南側県営駐車場付近). 備考: 鳥取県 RDB (2002, 2012: NT).

48. *Locusta migratoria* Linnaeus, 1758 トノサマバッタ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近, 砂丘中央), 東 (1939), 高橋 (1962), 野村 (1978: 砂丘全体), 佐藤ら (2007, 浜坂), S&T (2010: 砂丘入口草地), 小川ら (2012: 砂丘北東側~オアシス周辺, 南側県営駐車場付近).

49. *Gastrimargus marmoratus* (Thunberg, 1815) クルマバッタ. 文献: 猪股・石井 (1934), 東 (1939), 野村 (1978).

50. *Oedaleus infernalis* Saussure, 1884 クルマバッタモドキ. 文献: 東 (1939), 高橋 (1962), 野村 (1978), 佐藤ら (2007: 浜坂, 十六本松), S&T (2010: 砂丘入口~砂地), 小川ら (2012: オアシス周辺, 南側県営駐車場付近).

51. *Trilophidia annulata japonica* Saussure, 1888 イボバッタ. 文献: 東 (1939, 賀露), S&T (2010: 砂丘入口~砂地).

Order MANTODEA カマキリ目

Family Mantidae カマキリ科

1. *Mantis religiosa* (Linnaeus, 1758) ウスバカマキリ. 文献: 佐藤ら (2007, 浜坂). 備考: 鳥取県 RDB (2012: DD).

2. *Statilia maculata* (Thunberg, 1784) コカマキリ (図 1C). 文献: 野村 (1978). 小川ら (2012: 砂丘西側林縁, 砂丘入口草地, NH).

3. *Tenodera angustipennis* Saussure, 1869 チョウセンカマキリ (カマキリ). 文献: 東 (1939: 湯山), 高橋 (1962).

4. *Tenodera aridifolia* (Stoll, 1813) オオカマキリ (図 1D). 文献: 砂丘入口草地, 文献: 東 (1939). 小川ら (2012: 砂丘入口草地).

Family Acromantidae ヒメカマキリ科

5. *Acromantis japonica* Westwood, 1889 ヒメカマキリ. 文献: 猪股・石井 (1934: 松原付近).

Order BLATTARIA ゴキブリ目

Family Panesthiidae オオゴキブリ科

1. *Panesthia angustipennis spadica* (Shiraki, 1906) オオゴキブリ. 文献: S&T (2010: 砂丘西側クロマツ林縁). 備考: クロマツの朽木を食べる.

Family Blattellidae チャバネゴキブリ科

2. *Blattella nipponica* Asahina, 1963 モリチャバネゴキブリ. 文献: 佐藤ら (2007). 小川ら (2012: 合せヶ谷スリバチ, 砂丘東側~オアシス).

Order ISOPTERA シロアリ目

Family Rhinotermitidae ミゾガシラシロアリ科

1. *Reticulitermes speratus speratus* (Kolbe, 1885) ヤマトシロアリ. 砂丘周辺林 (クロマツ林) 文献: 東 (1939), 近藤 (1965).

Order HEMIPTERA 半翅目 (カメムシ目)

Suborder HOMOPTERA 同翅亜目

Family Cicadidae セミ科

1. *Cryptotympana facialis* (Walker, 1858) クマゼミ. 文献: S&T (2010: 砂丘クロマツ林).

2. *Graptosaltria nigrofuscata* (Motschulsky, 1866) アブラゼミ. 文献: S&T (2010: 砂丘周辺林).

3. *Platypleura kaempferi* (Fabricius, 1794) ニイニイゼミ. 文献: 高橋 (1964), 小川ら (2012: 東部砂丘入口付近).

4. *Tanna japonensis japonensis* (Distant, 1892) ヒゲラシ. 文献: S&T (2010: 砂丘周辺林).

5. *Terpnosia vacua* (Olivier, 1790) ハルゼミ. 文献: 西村 (1952), S&T (2010: クロマツ林), 小川ら (2012: 合せヶ谷スリバチ付近, 砂丘東側入口付近. 備考: 鳥取県 RDB (NT)).

6. *Meimuna opalifera* (Walker, 1850) ツクツクボウシ. 文献: S&T (2010: 砂丘周辺林).

7. *Cicadetta radiator* (Uhler, 1896) チッチゼミ. 文献: 西村 (1952), S&T (2010: 砂丘周辺林).

Family Dictyopharidae テングスケバ科

8. *Dictyophara patruelis* (Stal, 1859) テングスケバ. 文献: 高橋 (1962).

Family Delphacidae ウンカ科

9. *Stenocranus matsumurai* Metcalf, 1943 エゾナガウンカ. 文献: 小川ら (2012: 砂丘オアシス). 備考: 鳥取砂丘新記録.

Family Aphrophoridae アワフキムシ科



図 2. 鳥取砂丘と多鯨ヶ池のキジラミ類 (A-B: キジラミ科. C-E: トガリキジラミ科). A: ベニキジラミ (砂丘入口). B: リンゴキジラミ属 *Cacopsylla* の一種 (寄主ムベ) (多鯨ヶ池遊歩道). C: オオトガリキジラミ (鳥取砂丘南側クロマツ林). D: ニッケイトガリキジラミ (多鯨ヶ池遊歩道). E: タブトガリキジラミ (多鯨ヶ池遊歩道). (すべて 22.V.2010. 撮影: MH)

Fig. 2. Some species of Phyllidae (A-B) and Triozidae (C-E), jumping plant lice from Tottori Sand Dunes and Lake Tanegaike. A: *Cacopsylla coccinea* (L. Tanegaike). B: *Cacopsylla* sp. 1 on leaves of *Stauntonia hexaphylla* (Lardizabalaceae) (L. Tanegaike). C: Galls of *Epitrioza mizuhonica* on leaves of *Elaeagnus umbellata* (Elaeagnaceae) (*Pinus thunbergii* forest at southern border of Tottori Sand Dunes). D: Galls of *Trioza cinnamomi* on leaves of *Cinnamomum japonicum* (Lauraceae) (L. Tanegaike). E: Galls of *Trioza machilicola* on a leaf of *Machilus thunbergii* (Lauraceae) (L. Tanegaike). All photographed by MH on 22.V.2010).

10. *Aphrophora flavipes* Uhler, 1896 マツアワフキ△. 文献: 東 (1939: 賀露神社付近), 高橋 (1962: 多鯨ヶ池).

Family Deltocephalidae ヨコバイ科

11. *Nephotettix cincticeps* (Uhler, 1896) ツマグロヨコバイ. 文献: 高橋 (1964: 西部汀線).

Family Cicadellidae オオヨコバイ科

12. *Cicadella viridis* (Linnaeus, 1758) オオヨコバイ. 文献: 高橋 (1962: 乾地研北台地).

Family Typhlocybidae ヒメヨコバイ科

13. *Edwardsiana flavescens* (Fabricius, 1794) ミドリヒメヨコバイ. 文献: 東 (1939: 和名はウスバヒメヨコバへとして掲載. 砂丘上いたるところに多しと記述).

14. *Arboridia apicalis* (Nawa, 1913) フタテンヒメヨコバイ. 文献: 東 (1939: ふつう).

Family Hecalidae フクロクヨコバイ科

15. *Hecalus prasinus* (Matsumura, 1905) サジヨコバイ△. 文献: 東 (1939: 浜村).

Family Flatidae アオバハゴロモ科

16. *Geisha distinctissima* (Walker, 1858) アオバハゴロモ△. 文献: 東 (1939: 浜村).

Family Psyllidae キジラミ科

17. *Psylla pyrisuga* Foerster, 1848 ナシキジラミ△. 文献: 東 (1939: 賀露・湖山マツ林).

18. *Cacopsylla coccinea* (Kuwayama, 1908) ベニキジラミ. 文献: 林ら (2011: 鳥取砂丘入口 松林; 多鯨ヶ池遊歩道).

19. *Cacopsylla satsumensis* (Kuwayama, 1908) サツマキジラミ. 文献: 林ら (2011: 鳥取砂丘南 松林).

20. *Cacopsylla* sp. 1 リンゴキジラミ属の一種 (寄主ムベ). 文献: 林ら (2011: 多鯨ヶ池遊歩道).

21. *Cacopsylla* sp. 3 リンゴキジラミ属の一種 (寄主トベラ). 文献: 林ら (2011: 鳥取砂丘南 松林).

Family Triozidae トガリキジラミ科

22. *Epitrioza mizuhonica* Kuwayama, 1910 オオトガリキジラミ. 鳥取砂丘南 松林 (ゴールと幼虫 - 写真, 22.V.2010, MH). 備考: 鳥取砂丘新記録.

23. *Trioza cinnamomi* (Boselli, 1930) ニッケイトガリキジラミ△. 多鯨ヶ池遊歩道 (ゴールと幼虫, 22.V.2010, MH).

24. *Trioza machilicola* Miyatake, 1968 タブトガリキジラミ△. 多鯨ヶ池遊歩道 (ゴールと幼虫, 22.V.2010, MH).

Family Aphididae アブラムシ科

25. *Brevicoryne brassicae* (Linnaeus, 1758) ダイコンアブラムシ. 文献: 東 (1939: 海岸に近いハマボウフウの葉に無数に発生).

Margarodidae ワタフキカイガラムシ科

26. *Drosicha pinicola* (Kuwana, 1922) マツワラジカイガラムシ. 文献: S&T (2010: 砂丘西側防風林).

Suborder HETEROPTERA 異翅亜目

Family Reduviidae サシガメ科

27. *Oncocephalus philippinus* Lethierry, 1877 オオトビイロサシガメ. 文献: 高橋 (1962: 乾地研北台地).

Family Cydnidae ツチカメムシ科

28. *Adrisa magna* (Uhler, 1860) ヨコヅナツチカメムシ. 文献: 野村 (1978).

29. *Macroscytus japonensis* (Scott, 1874) ツチカメムシ. 文献: 高橋 (1962: 乾地研北台地).

30. *Byrsinus varians* (Fabricius, 1803) ハマベツチカメムシ● M. 文献: 鶴崎ら (2008), 小川ら (2012: 砂丘東側～オアシス付近, 砂丘北東側). 備考: 環境省 RDB (NT), 鳥取県 RDB (2012: NT).

Family Pentatomidae カメムシ科

31. *Scotinophara horvathi* Distant, 1883 オオクロカメムシ. 文献: 小川ら (2012: 砂丘北東側～オアシス周辺). 備考: 鳥取砂丘新記録.

32. *Dolycoris baccalum* (Linnaeus, 1758) ブチヒゲカメムシ. 文献: 東 (1939: オアシスや松林など多少湿気のある所に多い), 高橋 (1962), 野村 (1978).

33. *Aelia fieberi* Scott, 1874 ウズラカメムシ. 文献: 東 (1939: 千代川河口), 高橋 (1962: 多鯨ヶ池. かなり多い).

34. *Carbula humerigera* (Uhler, 1860) トゲカメムシ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近).

35. *Nezara antennata* Scott, 1874 アオクサカメムシ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近, 中央付近), 生駒 (1955).

36. *Plautia crossota stali* Scott, 1874 チャバネアオカメムシ. 文献: 高橋 (1962), 野村 (1978), 小川ら (2012: 南側県営駐車場付近).

37. *Plautia splendens* Distant, 1900 ヒメチャバネアオカメムシ. 文献: 野村 (1978).

38. *Eurydema rugosa* Motschulsky, 1861 ナガメ. 文献: 高橋 (1962: 十六本松).

39. *Graphosoma rubrolineatum* (Westwood, 1873) アカスジカメムシ. 砂丘 (1 ex. 写真, 17.VI.2010, YK: ハマボウフウに訪花). 文献: 野村 (1978).

Family Coreidae ヘリカメムシ科

40. *Cletus trigonus* (Thunberg, 1783) ヒメハリカメムシ. 文献: 東 (1939: 湯山).
41. *Stictopleurus punctatonervosus* (Goeze, 1778) ブチヒゲヘリカメムシ. 文献: 高橋 (1962).
42. *Homoeocerus unipunctatus* (Thunberg, 1783) ホシハラビロヘリカメムシ. 文献: S&T (2010: 砂丘西側林縁).

Family Alydidae ホソヘリカメムシ科

43. *Paraplesius unicolor* Scott, 1874 ヒメクモヘリカメムシ. 文献: 東 (1939: 賀露, 千代川河口).
44. *Riptortus clavatus* (Thunberg, 1783) ホソヘリカメムシ. 砂丘西側林縁 (1 ex., 18.V.2010, NT et al.). 文献: 高橋 (1962: 研究所北台地), 野村 (1978). 小川ら (2012: 追後スリバチ付近~オアシス).

Family Lygaeidae ナガカメムシ科

45. *Dimorphopterus pallipes* (Distant, 1883) コバネナガカメムシ. 文献: 小川ら (2012: 鳥取砂丘オアシス). 備考: 鳥取砂丘新記録.
46. *Piocoris varius* (Uhler, 1860) オオメカメムシ△. 文献: S&T (2010). 備考: 小昆虫を捕食, 吸汁.
47. *Geocoris proteus* Distant, 1883 ヒメオオメカメムシ●. 文献: S&T (2010: 砂丘西側林縁), 小川ら (2012: オアシス周辺). 備考: アブラムシなどを捕食. シバなどを吸汁することも.
48. *Pachygrontha antennata* (Uhler, 1860) ヒゲナガカメムシ. 砂丘 (1 ex., 20.VI.2010, KI: 訪花). 備考: 鳥取砂丘新記録. メヒシバなどのイネ科やスゲ類などの花穂を吸汁する.
49. *Paromius gracilis* (Rambur) ホソナガカメムシ. 文献: 高橋 (1962: 研究所台地).
50. *Pamerarma rustica* (Scott, 1874) サビヒョウタンナガカメムシ. 文献: 高橋 (1962: 浜坂スリバチ付近).

Family Pyrrhocoridae ホシカメムシ科

51. *Pyrrhocoris sibiricus* Kuschakewitsch, 1867 フタモンホシカメムシ. 文献: 東 (1939: 浜坂マツ林中).

Family Largidae オオホシカメムシ科

52. *Physopelta cincticollis* Stal, 1863 ヒメホシカメムシ. 文献: 高橋 (1962: 研究所北台地).

Family Scutelleridae キンカメムシ科

53. *Eucorysses grandis* (Thunberg, 1783) オオキンカメムシ△. 砂丘 (1 ex., 20.VI.2010, YK: 死骸). 文献: 高橋 (1962: ゴルフ場).

Family Gerridae アメンボ科

54. *Gerris (Aquarius) paludum paludum* (Fabricius, 1794) アメンボ. 文献: 東 (1939: オアシス尻無川, 千代川河口).
55. *Gerris (Gerris) latiabdominis* (Miyamoto 1958) ヒメアメンボ■. 鳥取砂丘オアシス (1 ♂, 20.VII.2010, NT et al.). 文献: 林 (2011: オアシス), 小川ら (2012: 鳥取砂丘オアシス).

Family Saldidae ミズギワカメムシ科

56. *Saldula pallipes* (Fabricius, 1794) ウスイロミズギワカメムシ■. 文献: 鶴崎ら (2012: 砂丘オアシス). 備考: オアシスの水たまりの周辺で見つかった. 鳥取砂丘新記録.

Family Miridae カスミカメムシ科

57. *Pseudophylus flavipes* (Nitobe, 1906) リンゴクロカスミカメ△. 文献: 東 (1939: リンゴクロメクラガメ. 浜村, 賀露).
58. *Stenotus rubrovittatus* (Matsumura, 1913) アカスジカスミカメ△. 文献: 東 (1939: アカスジメクラガメ. 浜村マツ林).

Family Ochteridae メミズムシ科

59. *Ochterus marginatus* Latreille, 1807 メミズムシ. 文献: 東 (1939: 浜坂オアシスの水中). 備考: 湿地に生息する半水生半翅目.

Family Belostomatidae コオイムシ科

60. *Lethocerus deyrollei* (Vuillefroy, 1864) タガメ△. 文献: 東 (1939: 浜村, 浜坂), 高橋 (1964: 砂丘荘). 備考: 環境省 RDB (VU), 鳥取県 RDB (2002, 2012: VU). 備考: 水生半翅目.

Family Nepidae タイコウチ科

61. *Ranatra unicolor* Scott, 1874 ヒメミズカマキリ. 文献: 東 (1939: オアシスの水中で採集). 備考: 鳥取県 RDB (2002, 2012: DD), 水生半翅目.

Order COLEOPTERA 鞘翅目 (コウチュウ目)

Family Paussidae カワラゴミムシ科

1. *Omophron aequalis* Morawitz, 1863 カワラゴミムシ (図 2A). 砂丘オアシス (1 ex., 29.VII.2011, YK). 文献: 小川ら (2012: 砂丘オアシス). 備考: 鳥取砂丘新記録. 鳥取県 RDB (2012: DD).

Family Cicindelidae ハンミョウ科

- 鳥取砂丘を代表する捕食性の昆虫である. Satoh et al. (2003) によれば, 鳥取砂丘 (オアシス周辺) にはハラビロハ

ンミョウ+カワラハンミョウ+エリザハンミョウの3種が生息し、成虫の大顎長はこの順で短くなる(体のサイズも)。多鯨ヶ池にはカワラハンミョウがおらず代わりに大顎長ではほぼこれに等しいコニワハンミョウが加わって、ハラビロハンミョウ+コニワハンミョウ+エリザハンミョウの3種の組み合わせとなる。ただし、2010年の調査では多鯨ヶ池湖畔ではハンミョウを確認できておらず、また砂丘内では2010、2011年とも注意しているがハラビロハンミョウの生息を確認できていない。

2. *Chaetodera laetescrpta* (Motschulsky, 1860) カワラハンミョウ● (図3B). 文献: 猪股・石井(1934: 海辺付近), 東(1939), 生駒(1955), 山中(1955: 十六本松, 多鯨ヶ池, 砂丘中心部), 高橋(1962), 井上(1998), 永幡(2002), Satoh et al. (2003: 砂丘), 後藤(2004b), S&T(2010: 砂丘入口). 小川ら(2012: 南側県営駐車場付近, 砂丘オアシス, 西側林縁沿い). 備考: 環境省RDB(VU). 鳥取県RDB(2002, 2012: VU). 永幡(2002)によれば, 砂丘では成虫の発生初期である7月にはオアシス付近でしかみられないが, 8-9月には広範囲に分散する傾向がみられるとのこと。
3. *Cicindela transbaicalica japonensis* Chaudoir, 1863 コニワハンミョウ. 文献: 猪股・石井(1934: 松原付近), 東(1939: 幼虫が砂丘内部に侵入している砂丘の代表的種の1つと記述), 西村(1952), 高橋(1964: オアシス付近), 野村(1978), Satoh et al. (2003: 多鯨ヶ池).
4. *Myriochila speculifera* (Chevrolat, 1865) コハンミョウ. 文献: 猪股・石井(1934: 松原付近), 生駒(1955). 備考: 猪股・石井(1934)および, この記録を引用していると思われる生駒(1955)ともに, エリザハンミョウは記録していないので, これはエリザハンミョウのことを指している可能性がある。
5. *Cicindela elisae elisae* Motschulsky, 1959 エリザハンミョウ●M(図3C-D). 一里松広場付近(1ex., 20.X.2010, NT). 文献: 山中(1955, 十六本松, 多鯨ヶ池), 高橋(1962), Satoh et al. (2003, 砂丘, 多鯨ヶ池), 後藤(2004b), 小川ら(2012: 砂丘オアシス). 備考: 2010-2011年の調査で本種を確認しているのはオアシス周辺と一里松周辺の砂地広場のみ。
6. *Cicindela chinensis japonica* Thunberg, 1781 ハンミョウ. 文献: 西村(1952).
7. *Catomera angulata nipponensis* (Bates, 1883) (= *Cicindela sumatrensis nipponensis* Bates, 1883) ハラビロハンミョウ●M. 文献: 山中(1955: 千代川河口と多鯨ヶ池), 高橋(1964: 多鯨ヶ池), 野村(1978). 永幡(2002: 千代川河口, オアシス, 多鯨ヶ池), Satoh et al. (2003, 砂丘, 多鯨ヶ池). 備考: 永幡(2002)によれば本種は成虫越冬で, 新成虫は7-10月に出現. 夏季にはオアシス付近の湿り気のある地表で確認されるのみ。2010-2011年, オアシス周辺および

多鯨ヶ池湖畔で本種を注意して探索したが, 見つからない。鳥取砂丘ではすでに絶滅しているおそれがある。

Family Carabidae オサムシ科

Subfamily Scaritinae ヒョウタンゴミムシ亜科

8. *Scarites sulcatus* Olivier, 1795 オオヒョウタンゴミムシ●M. 文献: 東(1939), 後藤(2004a), S&T(2010: 砂丘中心, 砂丘北西部), 小川ら(2012: 南側県営駐車場付近).
9. *Scarites aterrimus* Morawitz, 1863 ヒョウタンゴミムシ●M. 文献: S&T(2010: 砂丘中央後浜), 河上ら(2012: 十六本松付近砂浜).
10. *Scarites terricola pacificus* Bates, 1873 ナガヒョウタンゴミムシ. 文献: 東(1939, 湯山砂丘).
11. *Scarites acutidens* Chaudoir, 1855 ホソヒョウタンゴミムシ. 文献: 高橋(1964: 西海岸).
12. *Dyschirius steno* Bates, 1883 ホソチビヒョウタンゴミムシ. 文献: 高橋(1962, 1964).

Subfamily Broscinae オサムシモドキ亜科

13. *Craspedonotus tibialis* Schaum, 1863 オサムシモドキ●. 合せヶ谷スリバチ周辺(2 ex. 目撃, 5.X.2010, NT et al. 2010). 文献: S&T(2010: 砂丘入口, 砂丘東北部, 砂丘東南部林縁, 砂丘南西部林縁). 文献: 東(1939), 高橋(1962), 野村(1978). 小川ら(2012: 鳥取砂丘オアシス, 砂丘西側林縁).

Subfamily Carabinae オサムシ亜科

14. *Carabus daisen daisen* (Nakane, 1953) ダイセンオサムシ. 文献: 永幡(1995: 砂丘周辺林).
15. *Campalita chinense* (Kirby, 1818) エゾカタビロオサムシ. 文献: 高橋(1962: 研究所北台地).
16. *Damaster blaptoides blaptoides* Kollar, 1836 マイマイカブリ. 文献: S&T(2010: 合せヶ谷スリバチ西方).

Subfamily Bembidiinae ミズギワゴミムシ亜科

17. *Tachyura laetifica* (Bates, 1873) ヨツモンコムズギワゴミムシ. 文献: 高橋(1962: 研究所北台地, 灯火).
18. *Bembidion morawitzi* Csiki, 1928 ヨツボシミズギワゴミムシ. 文献: 高橋(1964: 西部汀線).
19. *Bembidion chloropus* Bates 1883 ホソトビミズギワゴミムシ■(図3E). 砂丘オアシス(2 ex., 20.VII.2010, NT et al.). 文献: 林(2011: 砂丘オアシス), 小川ら(2012: 砂丘オアシス). 【備考】夏季, オアシスの周辺の湿った砂地上を活発に徘徊する。個体数が多い。
20. *Bembidion semilunium* Netolitzky, 1914 ツマキミズギワゴミムシ. 文献: 高橋(1964: 研究所付近).
21. *Asaphidion semilucidum* (Motschulsky, 1861) メダカチビ

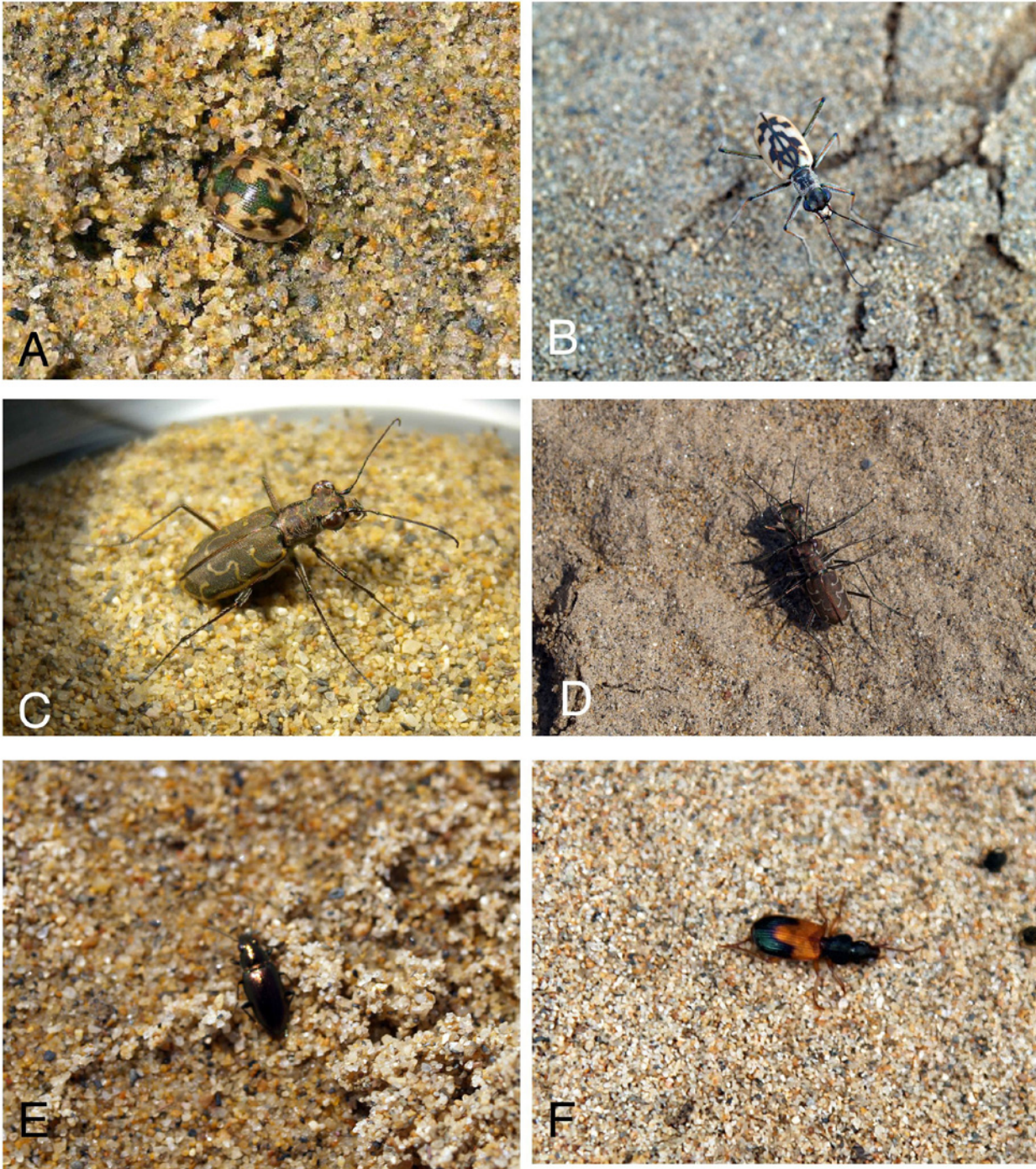


図 3. 鳥取砂丘の甲虫類 . A: *Omophron aequalis* カワラゴミムシ (オアシス, 29.VII.2011, 撮影 : YK). B: *Chaetodera laetescripta* カワラハンミョウ (オアシス, 20.VII.2010. 撮影 : NT). C-D: *Cicindela elisae elisae* エリザハンミョウ (C: 一里松周辺の砂地裸地, 6.X.2010 撮影 : NT). D: (オアシス周辺の湿った裸地で交尾中の雌雄 . 20.VII.2011, 撮影 : NT). D: エリザハンミョウ (2.VII.2011, 撮影 : NT). E: *Bembidion chloropus* ホソトビミズギワゴミムシ (オアシス, 20.VII.2010, 撮影 : NT). F: *Cymindis daimio* ダイミョウアトキリゴミムシ (砂丘入口砂地, 27.V.2009, 撮影 : YK).

Fig. 3. Some beetles often found around "Oasis" in Tottori Sand Dunes. A: *Omophron aequalis* (Paussidae)(Oasis, 29.VII.2011, YK). B: *Chaetodera laetescripta* (Cicindelidae) (Oasis, 20.VII.2010. NT). C-D: *Cicindela elisae elisae* (Cicindelidae) (C: Open sandy ground near "Ichirimatsu", 6.X.2010. D: (Oasis, 20.VII.2011, NT) D: *Cicindela elisae elisae* (Cicindelidae) in copulation (Oasis, 2.VII.2011, NT). E: *Bembidion chloropus* (Carabidae) (Oasis, 20.VII.2010, NT). F: *Cymindis daimio* (Carabidae) (Entrance of sand dunes, 27.V.2009, YK).

カワゴミムシ. 文献: 東 (1939: 数は多くないが砂丘の代表的種の1つとの記載).

Subfamily Callistinae アオゴミムシ亜科

22. *Chlaenius abstersus* Bates, 1873 アカガネアオゴミムシ. 文献: 高橋 (1964: 西部林道).
 23. *Lachnocrepis prolixa* (Bates, 1873) トックリゴミムシ. 文献: 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜). 備考: 鳥取砂丘新記録.

Odocanthisinae クビナガゴミムシ亜科

24. *Odocanthis aegrota* (Bates, 1883) チャバネクビナガゴミムシ. 文献: 小川ら (2012: 砂丘オアシス). 備考: 鳥取砂丘新記録.

Subfamily Lebiinae アトキリゴミムシ亜科

25. *Cymindis daimio* Bates, 1873 ダイミョウアトキリゴミムシ (図 3F). 砂丘入口砂地 (1ex. 写真, 27.V.2009, YK). 文献: 高橋 (1962: 浜坂スリバチ, 灯火). 備考: 高橋 (1962) に記録されていたのみ.

Subfamily Pterostichinae ナガゴミムシ亜科

26. *Dolichus halensis* (Schaller, 1783) セアカヒラタゴミムシ. 文献: 高橋 (1962: 和名セアカゴミムシで掲載. 浜坂スリバチ), 野村 (1978, セアカゴミムシ).
 27. *Lesticus magnus* (Motschulsky, 1860) オオゴミムシ. 文献: S&T (2010: 砂丘東側).

Subfamily Harpalinae ゴモクムシ亜科

28. *Platymetopus flavilabris* (Fabricius, 1798) カラカネゴモクムシ. 文献: 高橋 (1964).
 29. *Harpalus griseus* (Panzer, 1797) ケウスゴモクムシ. 文献: 河上ら (2012: 砂丘中央後浜). 備考: 鳥取砂丘新記録.
 30. *Harpalus capito* Morawitz, 1862 オオゴモクムシ△. 文献: 東 (1939: 賀露).
 31. *Harpalus sinicus* Hope, 1845 ウスアカクロゴモクムシ. 文献: 高橋 (1962: 砂丘スリバチ, 灯火).
 32. *Harpalus platynotus* Bates, 1873 ヒラタゴモクムシ. 文献: 高橋 (1964), 河上ら (2012: 砂丘中央後浜, 砂丘海水浴場).
 33. *Harpalus tinctulus* Bates, 1873 アカアシマルガタゴモクムシ. 文献: 高橋 (1962, 1964: 西部).
 34. *Acupalpus inornatus* Bates, 1873 キイロチビゴモクムシ. 文献: 高橋 (1962: で掲載. 西部灯火).
 35. *Anisodactylus signatus* (Panzer, 1797) ゴミムシ. 文献: 東 (1939: 砂丘縁辺の松林, 桑畑斜面に多い砂丘の代表的種の1つとの記載).

36. *Stenolophus propinquus* Morawitz, 1862 ムネアカマメゴモクムシ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近).

Subfamily Zabrinae マルガタゴミムシ亜科

37. *Amara chalcites* Dejean, 1828 マルガタゴミムシ. 文献: 東 (1939), 高橋 (1964: 研究所付近). 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜).

Family Dytiscidae ゲンゴロウ科

38. *Laccophilus sharpi* Regimbart, 1889 シャープツブゲンゴロウ△. 文献: 高橋 (1962: 和名はアヤナミツブゲンゴロウで掲載. 研究所北台地, 灯火).
 39. *Laccophilus difficilis* Sharp, 1873 ツブゲンゴロウ△. 文献: 高橋 (1962: 浜坂スリバチ, 灯火).
 40. *Hyphydrus japonicus* Sharp, 1873 ケシゲンゴロウ△. 文献: 高橋 (1962: 浜坂スリバチ, 灯火).
 41. *Hydaticus grammicus* (Germar, 1830) コシマゲンゴロウ■. 文献: 高橋 (1962: 西部, 灯火), 小川ら (2012: 砂丘オアシス).
 42. *Guignotus japonicus* (Sharp, 1873) チビゲンゴロウ■. 文献: 高橋 (1962: 西部, 灯火), 林 (2011: 砂丘オアシス).
 43. *Rhantus pulverosus* (Stephens, 1828) ヒメゲンゴロウ■. 文献: 小川ら (2012: 砂丘オアシス). 備考: 鳥取砂丘新記録.
 44. *Eretes sticticus* (Linnaeus, 1767) ハイイロゲンゴロウ■ (図 4A-B). オアシス (1♂ 1♀ 標本 + 多数目撃, 20.VII.2010, NT et al.). 文献: 高橋 (1964: 西部, 灯火), 小川ら (2011: 砂丘オアシス). 【備考】夏季, オアシスの水中に多数生息する。2011年の調査では終齢の幼虫も確認しているので, ここで1世代は経過するものと考えられる。

Family Hydrophilidae ガムシ科

本科の多くの種は止水性の水生昆虫。

45. *Coelostoma stultum* (Walker, 1858) セマルガムシ■. 文献: 小川ら (2012: 砂丘オアシス). 備考: 鳥取砂丘新記録.
 46. *Cercyon aptus* Sharp, 1873 コケシガムシ● M. 文献: 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜, 砂丘海水浴場). 備考: 鳥取砂丘新記録. 海浜の打ち上げゴミの下などに生息する陸生種.
 47. *Lacobiopsis oscillans* Sharp, 1884 コモンシジミガムシ■. 文献: 林 (2011: オアシス), 小川ら (2012: 砂丘オアシス). 備考: 体長 2.5mm ほどの小型のガムシ. 個体数は多い.
 48. *Enochrus simulans* (Sharp, 1873) キイロヒラタガムシ■. 文献: 高橋 (1962, 乾地研北台地, 灯火), 小川ら (2012: 砂丘オアシス).
 49. *Hydrophilus acuminatus* Motschulsky, 1853 ガムシ. 文献:

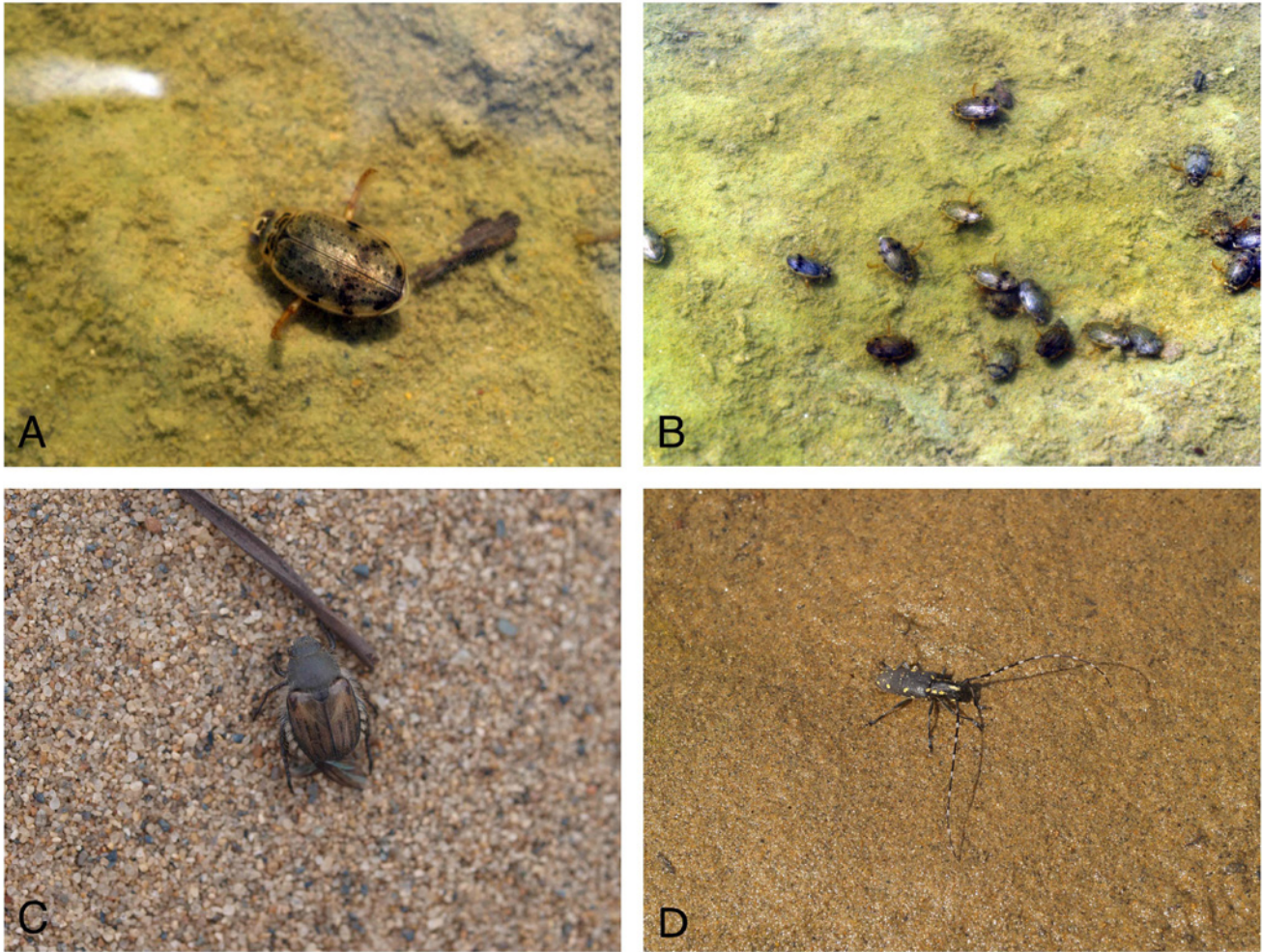


図 4. 鳥取砂丘の甲虫類数種 . A-B: *Eretes sticticus* ハイイロゲンゴロウ (オアシス, 20 July 2010). C: *Exomala conspurcata* カタモンコガネ (西側林縁, 18 May 2010). D: *Psacotheta hilaris hilaris* キボシカミキリ (オアシス 迷入, 20 July 2010). 撮影はすべて NT.

Fig. 4. Some beetles of Tottori Sand Dunes. A-B: *Eretes sticticus* (Dytiscidae) (Oasis, 20 July 2010, NT). This diving beetle species is abundant in a temporary pool of “Oasis”. C: *Exomala conspurcata* (Scarabaeidae) (West border of Tottori Sand Dunes along forest edge, 18 May 2010, NT). D: *Psacotheta hilaris hilaris* (Cerambycidae) (erratic occurrence, 20 July 2010). All Photos taken by NT.

東 (1939: 浜坂オアシスの尻無川).

50. *Sternolophus rufipes* (Fabricius, 1792) ヒメガムシ■. 文献: 東 (1939: 賀露, 浜坂観測所跡南方), 高橋 (1962: 多鯨ヶ池), 小川ら (2012: 砂丘オアシス).
51. *Hydrochara affinis* (Sharp, 1873) コガムシ■. 文献: 高橋 (1964, 砂丘荘), 小川ら (2012: 砂丘オアシス).
52. *Regimbartia attenuata* (Fabricius, 1801) マメガムシ. 文献: 東 (1939: 浜坂オアシス).
53. *Berosus lewisius* Sharp, 1873 トゲバゴマフガムシ△. 文献: 高橋 (1962, 合せヶ谷スリバチ, 灯火).
54. *Berosus pulchellus* MacLeay, 1825 ホソゴマフガムシ■. 文献: 小川ら (2012: 砂丘オアシス). 備考: 鳥取砂丘新記

録.

Family Histeridae エンマムシ科

55. *Margarinotus (Grammostethus) niponicus* (Lewis, 1895) コエンマムシ. 文献: 東 (1939: 普通に見られる砂丘の代表的種の1つ).
56. *Saprinus (Saprinus) splendens* (Paykull, 1811) ルリエンマムシ. 文献: 猪股・石井 (1934: 松原付近), 高橋 (1962: 多鯨ヶ池付近).
57. *Hypocaccus lewisii* (Schmidt, 1890) カラカネハマベエンマムシ●M. 文献: 河上ら (2012: 砂丘中央後浜). 備考: 鳥取砂丘新記録.

58. *Hypocaccus (Hypocaccus) sinae* (Marseul, 1862) ニセハマベエンマムシ● M. 文献: S&T (2010: 鳥取砂丘). 文献: 小川ら (2012: 砂丘東側～オアシス付近).
59. *Hypocaccus (Baeckmanniolus) varians varians* (Schmidt, 1890) ハマベエンマムシ● M. 文献: 高橋 (1964: 西部汀線), 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜, 砂丘海水浴場付近).
60. *Eopachylopus ripae* (Lewis, 1885) ツヤハマベエンマムシ● M. 文献: 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜, 砂丘海水浴場付近). 備考: 鳥取砂丘新記録.

Family Silphidae シデムシ科

61. *Necrophila japonica* (Motschulsky) オオヒラタシデムシ. 文献: 高橋 (1962, 十六本松; 1963), 小川ら (2012: 追後スリバチ付近～オアシス).

Family Staphylinidae ハネカクシ科

62. *Bledius curvicornis* Sharp, 1889 キベリカワベハネカクシ■. 文献: 林 (2011: オアシス周辺の湿った砂地).
63. *Paederus fuscipes* (Curtis, 1823) アオバアリガタハネカクシ (図 1B). オアシス (1 ex. 写真, 30.I.2012, 阿部千春・音田研二郎). 文献: 東 (1939: 浜村), 高橋 (1962: 西部), 小川ら (2012: 砂丘東側～オアシス).
64. *Aleochara squalithorax* Sharp, 1888 フトツヤケシヒゲブトハネカクシ● M. 文献: 高橋 (1964: 西海岸), 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜海岸, 砂丘中央砂浜海岸, 砂丘海水浴場付近).
65. *Aleochara trisulcata* Weise, 1877 ホソセスジヒゲブトハネカクシ● M. 文献: 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜海岸). 備考: 鳥取砂丘新記録.
66. *Cafius rufescens* (Sharp, 1889) アカウミベハネカクシ● M. 文献: 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜海岸, 砂丘中央砂浜海岸, 砂丘海水浴場付近). 備考: 鳥取砂丘新記録.
67. *Creophilus maxillosus* Linnaeus, 1758 オオハネカクシ. 文献: 野村 (1978).
68. *Philonthus aeneipennis* Boheman, 1858 ドウガネコガシラハネカクシ. 文献: 高橋 (1964: 西部).
69. *Philonthus nudus* Sharp, 1874 (要確認) ツヤウミベハネカクシ● M. 文献: 高橋 (1964: 西部), 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜海岸).

Family Lucanidae クワガタムシ科

70. *Macrodercas rectus rectus* (Motschulsky, 1857) コクワガタ. 砂丘入口砂地 (1 ex. 写真, 27.V.2009, YK). 文献: S&T (2010: 砂丘入口林).
71. *Prosopocoilus inclinatus inclinatus* (Motschulsky, 1857) ノコギリクワガタ. 文献: 高橋 (1962), S&T (2010: 砂丘観光

駐車場, 砂丘入口林).

72. *Nipponodorcus montivagus montivagus* (Lewis, 1883) ヒメオオクワガタ△. 文献: 東 (1939: 賀露).
73. *Serrognathus platymelus pilifer* (Snellen van Vollenhoven, 1861) ヒラタクワガタ. 文献: 高橋 (1962: 西部造林地林道).

Family Trogidae コブスジコガネ科

74. *Trox opacotuberculatus* Motschulsky, 1860 ヒメコブスジコガネ. 文献: 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜). 備考: 鳥取砂丘新記録.

Family Scarabaeidae コガネムシ科

Subfamily Scarabaeinae タマオシコガネ亜科

75. *Liatongu phanaeoides* (Westwood, 1840) ツノコガネ. 文献: 近藤 (1962).
76. *Onthophagus lenzii* Harold, 1874 カドマルエンマコガネ. 文献: 近藤 (1962).
77. *Onthophagus ater* Waterhouse, 1875 クロマルエンマコガネ. 文献: 近藤 (1962), 高橋 (1964: 中部汀線).

Subfamily Aphodiinae マグソコガネ亜科

78. *Aphodius (Colobopterus) haroldianus* Balthasar, 1932 オオマグソコガネ. 近藤 (1962).
79. *Aphodius (Aganocrossus) urostigma* Harold, 1862 フチケマグソコガネ. 文献: 高橋 (1962: 西部).
80. *Aphodius (Orodalus) pusillus* (Herbst, 1789) コマグソコガネ. 文献: 高橋 (1962: 研究所北台地, 灯火).
81. *Aphodius (Phaeaphodius) rectus* (Motschulsky, 1866) マグソコガネ△. 文献: 東 (1939: 学名 *A. solskyi* で記録: 浜村).
82. *Psammodyius convexus* Waterhouse, 1875 セマルケシマグソコガネ● M. 文献: S&T (2010: 砂丘西側林縁), 小川ら (2012: 砂丘東側～オアシス付近).
83. *Psammodyius japonicus* Harold, 1875 ヤマトケシマグソコガネ● M. 文献: S&T (2010), 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜, 砂丘中央後浜, 砂丘海水浴場付近).

Subfamily Aegialiinae ニセマグソコガネ亜科

84. *Aegialia nitida* Waterhouse, 1875 ニセマグソコガネ. 文献: 高橋 (1964: 西海岸汀線).

Subfamily Melolonthinae コフキコガネ亜科

85. *Maladera castanea* (Arrow, 1913) アカビロウドコガネ. 文献: 近藤 (1961), 高橋 (1962: 西部, 灯火). 乾 (1962), 佐々 (1965).
86. *Miridiba castanea* (Waterhouse, 1875) クリイロコガネ. 文献: 高橋 (1964: 研究所付近).

87. *Holotrichia kiotoensis* Brenske, 1894 クロコガネ. 文献: S&T (2010: 砂丘入口林).
88. *Melolontha frater* Arrow, 1913 オオコフキコガネ. 文献: 東 (1939), 近藤 (1961), 高橋 (1962: 西部, 灯火), 野村 (1978).
89. *Melolontha japonica* Burmeister, 1855 コフキコガネ. 文献: 東 (1939), 近藤 (1961), 高橋 (1962), 井上 (1962: 砂丘掘り取りで幼虫). 野村 (1978).
90. *Polyphylla albolineata* (Motschulsky, 1861) シロスジコガネ●. 文献: 東 (1939), 近藤 (1961), 高橋 (1962), 作野 (1962: 海岸灯火に多いが内陸ではほとんど集まらない), 井上 (1962: 砂丘掘り取りで幼虫), 酒本 (1963: 汀線に近づくほどシロスジコガネ幼虫が多い), 佐々 (1965), 野村 (1978), S&T (2010: 砂丘入口林). 備考: 海岸性の甲虫.

Subfamily Rutelinae スジコガネ亜科

91. *Popillia japonica* Newmann, 1844 マメコガネ. 文献: 東 (1939: 浜坂).
92. *Exomala conspurcata* (Harold, 1878) カタモンコガネ●(図4C). 砂丘西側林縁 (1♂, 18.V.2010, NT et al.). 文献: 高橋 (1964: オアシス付近). 備考: 河川敷や海岸の植物がまばらに生えた環境を好んで出現する種 (酒井ら 2007).
93. *Blitopertha orientalis* (Waterhouse, 1875) セマダラコガネ. 文献: 近藤 (1961).
94. *Mimela flavilabris* (Waterhouse, 1875) ヒメスジコガネ. 文献: 高橋 (1962: 研究所北台地, 灯火).
95. *Mimela splendens* (Gyllenhal, 1817) コガネムシ. 文献: 東 (1939), 近藤 (1961).
96. *Anomala albopilosa albopilosa* (Hope, 1839) アオドウガネ. 文献: 近藤 (1961), 井上 (1962: 砂丘掘り取りで幼虫), 高橋 (1962). 乾 (1962, 砂丘地では成虫でヒメサクラコガネに次いで多い), 酒本 (1963, 汀線よりに多く分布), 佐々 (1965: 砂丘内苗畑で最優占種), 野村 (1978).
97. *Anomala cuprea* (Hope, 1839) ドウガネブイブイ. 文献: 東 (1939), 近藤 (1961), 高橋 (1962), 井上 (1962: 砂丘掘り取りで幼虫), 野村 (1978).
98. *Anomala daimiana* Harold, 1877 サクラコガネ. 文献: 東 (1939), 近藤 (1961), 井上 (1962: 浜坂砂丘砂中より幼虫), 高橋 (1962), 野村 (1978).
99. *Anomala geniculata* (Motschulsky, 1866) ヒメサクラコガネ●. 文献: 高橋 (1962), 近藤 (1961), 高橋 (1962: 灯火採集で最も目立つきわめて多い, おそらく海浜性種との記載). 近藤 (1962: 砂丘の最優占種. 灯火への飛来は7月上旬から中旬に集中), 井上 (1962: 浜坂砂丘砂中より幼虫), 乾 (1962: 砂丘地でのコガネムシ成虫での最優占種), 平木 (1963), 佐々 (1965: 砂丘内苗畑では3番目に多い).
100. *Anomala lucens* Ballion, 1871 ツヤコガネ. 文献: 近藤

(1961).

101. *Anomala puncticollis* Harold, 1877 ハンノヒメコガネ. 文献: 近藤 (1961).
102. *Anomala rufocuprea* Motschulsky, 1860 ヒメコガネ. 文献: 東 (1939), 近藤 (1961), 高橋 (1962: 浜坂スリバチ, 灯火), 井上 (1962: 砂丘掘り取りで幼虫), 佐々 (1965).
103. *Mimela testaceipes* (Motschulsky, 1860) スジコガネ. 文献: 近藤 (1961), 高橋 (1962: 浜坂スリバチ, 灯火).

Subfamily Dynastinae カブトムシ亜科

104. *Allomyrina dichotoma dichotoma* Linnaeus, 1771 カブトムシ. 文献: 近藤 (1961), 萩野・高見 (1963), S&T (2010: 砂丘温泉).

Subfamily Cetoniinae ハナムグリ亜科

105. *Rhomborrhina japonica* Hope, 1841 カナブン. 文献: 東 (1939: 浜坂, 服部).
106. *Cetonia (Eucetonia) pilifera* (Motschulsky, 1860) ナミハナムグリ (= ハナムグリ). 文献: 東 (1939: 多鯨ヶ池北方).
107. *Protaetia brevitarsis brevitarsis* (Lewis, 1879) シラホシハナムグリ. 文献: 高橋 (1962: 研究所北台地, 灯火).
108. *Protaetia orientalis submarumorea* (Burmeister, 1842) シロテンハナムグリ. 文献: 東 (1939), 高橋 (1962), 高橋 (1964: 砂丘荘).
109. *Oxycetonia jucunda* (Faldermann, 1835) コアオハナムグリ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺, 砂丘中央).
110. *Nipponovalgus angusticollis angusticollis* (Waterhouse, 1875) ヒラタハナムグリ. 文献: 高橋 (1964, 研究所付近).

Family Helodidae マルハナノミ科

111. *Scirtes japonicus* Kiesenwetter, 1874 トビイロマルハナノミ. 文献: 高橋 (1962: 研究所北台地, 灯火).

Family Psephenidae ヒラタドロムシ科

本科および、ナガドロムシ科、ヒメドロムシ科 (いずれもドロムシ上科) の甲虫はいずれも水生である。以下の記録はすべて灯火採集による。

112. *Mataeopsephus japonicus japonicus* (Matsumura, 1916) ヒラタドロムシ△. 文献: 高橋 (1962: 浜坂スリバチ付近, 灯火).

Family Heteroceridae ナガドロムシ科

113. *Heterocerus fenestratus* Thunberg, 1784 タテスジナガドロムシ△. 文献: 高橋 (1962, 1963: 和名ナガドロムシで掲載. 乾地研北台地, 灯火).

Family Elmidae ヒメドロムシ科

114. *Zaitzevia awana* (Kono, 1934) アワツヤドロムシ△. 文献: 高橋 (1962, 1963: 和名アワドロムシで掲載. 乾地研北台地, 灯火).

115. *Grouvellinus marginatus* (Kono, 1934) キベリナガアシドロムシ△. 文献: 高橋 (1962: 和名キベリドロムシで掲載. 乾地研北台地, 灯火).

116. *Leptelmis gracilis* Sharp, 1888 ヨコミゾドロムシ△. 文献: 高橋 (1962: 浜坂スリバチ付近, 灯火に飛来). 備考: 環境省 RDB (VU), 鳥取県 RDB (2002: CR+EN. 2012: NT).

117. *Ordobrevia foveicollis* (Schonfeldt, 1888) キスジミゾドロムシ△. 文献: 高橋 (1962: 乾地研北台地, 灯火).

Family Cantharidae ジョウカイボン科

118. *Athemus vitellinus* (Kiesenwetter, 1874) セボシジョウカイ. 文献: 小川ら (2012: 合せヶ谷スリバチ). 備考: 鳥取砂丘新記録.

Family Elateridae コメツキムシ科

119. *Pectocera fortunei* Candeze, 1873 ヒゲコメツキ. 文献: S&T (2010: 西側クロマツ林).

120. *Actenicerus pruinosus* (Motschulsky, 1861) シモフリコメツキ. 文献: 東 (1939: 浜坂).

121. *Agrypnus binodulus binodulus* (Motschulsky, 1861) サビキコリ. 文献: 東 (1939: 浜坂, 浜村).

122. *Meristhus niponensis* Lewis, 1894 スナサビキコリ● M. 文献: 高橋 (1964: 同定は岸井氏), 岸井・山地 (2004), S&T (2010: 砂丘西側林縁).

123. *Agrypnus fuliginosus* (Candeze, 1865) ホソサビキコリ. 文献: 高橋 (1964), S&T (2010: 砂丘西側林縁), 小川ら (2012: 砂丘オアシス).

124. *Elater sieboldi sieboldi* (Candeze, 1873) オオナガコメツキ. 文献: 高橋 (1964).

125. *Cardiophorus pinguis* Lewis, 1894 クロハナコメツキ. 文献: 高橋 (1964: 研究所付近).

126. *Suzukielater babai* (Kishii & Ohira, 1956) ツヤチャイロヒラアシコメツキ. 文献: 高橋 (1964) 岸井・山地 (2004).

127. *Paracardiophorus sequens sequens* (Candeze, 1873) アカアシコハナコメツキ● M. 文献: 高橋 (1964: 多鯨ヶ池付近), 岸井・山地 (2004: 砂丘, 多鯨ヶ池), S&T (2010: 砂丘西側林縁), 河上ら (2012: 砂丘海水浴場).

Family Buprestidae タマムシ科

128. *Chalcophora japonica japonica* (Gory, 1840) ウバタマムシ. 合せヶ谷スリバチ周辺 (lex., 5.X.2010, NT et al.). 文献: 猪股・石井 (1934: 松原付近), 高橋 (1962), S&T (2010: 東南部クロマツ林縁). 備考: 幼虫は枯れたクロマツやアカマツの材, 成虫はマツ花粉を食べ, 砂丘林縁を飛んでい

ることが多い.

129. *Chrysochroa fulgidissima fulgidissima* (Schonherr, 1817) タマムシ. 文献: 高橋 (1962: 西部).

Family Melyridae ジョウカイモドキ科

130. *Laius historio* Kiesenwetter, 1874 ヒロオビジョウカイモドキ. 文献: 高橋 (1962: 合せヶ谷スリバチ).

Family Coccinellidae テントウムシ科

131. *Coccinella explanata* Miyatake, 1963 ココノホシテントウ. 文献: 東 (1939: ハマボウフウに発生するアブラムシを捕食する砂丘の代表的種の1つと記述), 西村 (1952).

132. *Coccinella septempunctata* Linnaeus, 1758 ナナホシテントウ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近), 東 (1939), 高橋 (1964), 野村 (1978), 小川ら (2012: 砂丘東側〜オアシス).

133. *Propylea japonica* (Thunberg, 1781) ヒメカメノコテントウ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近, 松原付近), 東 (1939: 賀露), 高橋 (1962).

134. *Rodolia limbata* (Motschulsky, 1866) ベニヘリテントウ. 文献: S&T (2010: 砂丘西側クロマツ林). 備考: クロマツの枝上にてマツワラジカイガラムシ *D. howardi* を捕食している。

135. *Aiolocaria hexaspilota* (Hope, 1831) カメノコテントウ. 文献: 西村 (1952).

136. *Chilocorus rubidus* Hope, 1831 アカホシテントウ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近), 小川ら (2012: 砂丘西側).

137. *Harmonia axyridis* (Pallas, 1773) ナミテントウ. 文献: 西村 (1952), 高橋 (1962), 野村 (1978), S&T (2010: 砂丘西側クロマツ林).

138. *Harmonia yedoensis* (Takizawa, 1917) クリサキテントウ. 文献: S&T (2010: 砂丘西側クロマツ林), 小川ら (2012: 砂丘西側). 備考: ナミテントウの同胞種. 砂丘西側のクロマツ林では両者が混棲するが, 本種のほうが少ない。

Family Mycetophagidae コキノコムシ科

139. *Mycetophagus antennatus* (Reitter, 1879) ヒゲフトコキノコムシ. 文献: 高橋 (1962: 西部).

Family Colydiidae ホソカタムシ科

140. *Dastarcus longulus* Sharp, 1885 サビマダラオオホソカタムシ. 文献: S&T (2010: 浜坂クロマツ林).

Family Tenebrionidae ゴミムシダマシ科

141. *Idisia ornata* Pascoe, 1866 ハマヒョウタンゴミムシダマシ● M. 文献: S&T (2010: 後浜), 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜, 砂丘海水浴場).

142. *Caedius marinus* Marseul, 1876 マルチビゴミムシダマシ ● M. 文献: S&T (2010: 後浜, 砂丘西側林縁), 河上ら (2012: 砂丘中央後浜), 小川ら (2012: 砂丘東側~オアシス付近, 追後スリバチ付近~オアシス, 砂丘北東側).
143. *Phelopatrum scaphoides* (Marseul, 1876) オオマルスナゴミムシダマシ ● M. 文献: 高橋 (1964), S&T (2010: 西側林縁), 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜).
144. *Gonocephalum terminale* Reichardt ヒメカクスナゴミムシダマシ ●. 文献: S&T (2010: 砂丘東側~オアシス付近, 砂丘海水浴場入口), 河上ら (2012: 砂丘中央後浜).
145. *Gonocephalum coriaceum* Motschulsky コスナゴミムシダマシ ●. S&T (2010: 西側林縁沿い).
146. *Gonocephalum pubens* Marseul, 1876 オオスナゴミムシダマシ ●. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近), 東 (1939: 草の根元の砂中に普遍的に見られ個体数も多い砂丘の代表的種の1つと記述), 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜, 砂丘海水浴場). 備考: S&T (2010) では「オオマルスナゴミムシダマシの誤同定の可能性がある」と書いたが, 河上ら (2012) によって, 本種も確認された.
147. *Gonocephalum recticollis* Motschulsky, 1866 カクスナゴミムシダマシ. 文献: 高橋 (1962: 浜坂スリバチ付近, 灯火).
148. *Gonocephalum japanum* Motschulsky, 1860 スナゴミムシダマシ. 文献: 東 (1939: 砂上に普遍的に見られ個体数も多い砂丘の代表的種の1つとの記載).
149. *Trachyscelis sabuleti* Lewis, 1894 ニセマグソコガネダマシ ● M. 文献: 河上ら (2012: 砂丘海水浴場). 備考: 鳥取砂丘新記録.
150. *Micropedinus pallidipennis* Lewis, 1894 ヒメホソハマベゴミムシダマシ ● M. 文献: 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜, 砂丘中央後浜, 砂丘海水浴場). 備考: 鳥取砂丘新記録.
151. *Diaperis lewisi* Bates, 1873 モンキゴミムシダマシ. 文献: 河上ら (2012: 砂丘海水浴場). 備考: 鳥取砂丘新記録.
152. *Uloma bonzica* Marseul, 1876 モトヨツコブゴミムシダマシ. 文献: 高橋 (1962: 西部), 河上ら (2012: 砂丘海水浴場). 備考: 保育社の甲虫図鑑 III では「ヨツコブゴミムシダマシ」の和名で掲載されている.
153. *Promethis valgipes* (Marseul, 1876) ユミアシゴミムシダマシ. 文献: 河上ら (2012: 砂丘海水浴場). 備考: 鳥取砂丘新記録.
154. *Heterotarsus carinula* Marseul, 1876 スジコガシラゴミムシダマシ (=スジコガシラハムシダマシ) ●. 文献: S&T (2010), 小川ら (2012: 砂丘北東側. 南側県営駐車場付近).
155. *Lagria nigricollis* Hope, 1842 ニセハムシダマシ. 文献: 猪股・石井 (1934: 砂丘中央).
156. *Luprops orientalis* (Motschulsky, 1868) ヒゲブトゴミムシダマシ (= ヒゲブトハムシダマシ). 文献: 高橋 (1962: 西

部, 灯火), 小川ら (2012: 追後スリバチ付近~オアシス).

Family Oedemeridae カミキリモドキ科

157. *Eobia cinereipennis cinereipennis* (Motschulsky, 1866) ハイロカミキリモドキ ●. 文献: 高橋 (1962: 西部, 灯火).
158. *Xanthochroa hilleri* Harold, 1878 キイロカミキリモドキ. 文献: 高橋 (1962: 浜坂スリバチ付近, 灯火).

Family Anthicidae アリモドキ科

小型で形態的によく似た種が多い科であり, イッカク類などは複数種がいるのか, それとも同一種が異なる種に同定されているのか, さらに検討が必要.

159. *Anthicus fugiens* Marseul, 1876 アカホソアリモドキ. 文献: S&T (2010: 標本: 砂丘).
160. *Anthicus floralis* (Linnaeus, 1758) アトグロホソアリモドキ. 文献: 高橋 (1962: 浜坂スリバチ付近に灯火に飛来) 備考: 外来種.
161. *Anthicus baicalicus* Mulsant, 1866 クロホソアリモドキ ●. 文献: S&T (2010: 砂丘入口付近, 砂丘西側林縁).
162. *Anthicus protensus* Marseul, 1876 クロオビホソアリモドキ ● M. 文献: 河上ら (2012: 砂丘海水浴場). 備考: 鳥取砂丘新記録.
163. *Anthelephila cribriceps* (Marseul, 1876) ケオビアリモドキ. 文献: S&T (2010: 砂丘入口付近).
164. *Mecynotarsus minimus minimus* Marseul, 1876 チビイッカク ●. 文献: 東 (1939: 砂丘の代表的種の1つとの記載).
165. *Mecynotarsus tenuipes* Champion, 1891 ホソアシチビイッカク ●. 文献: S&T (2010: 砂丘入口付近, 鳥取砂丘西側林縁). 備考: 昼間は林縁近くの草本群落の根元付近の砂中に潜っている (篩で採集できる). 夜間は砂地表面を徘徊, 刺激すると迅速に砂中にもぐる.
166. *Mecynotarsus niponicus* Lewis, 1895 ツノボソイッカク. 文献: 高橋 (1962: 和名はチビイッカクで掲載: 西部, 灯火).

Family Cerambycidae カミキリムシ科

167. *Spondylis buprestoides* Linnaeus, 1758 クロカミキリ. 文献: 高橋 (1962: クロマツ林), 小川ら (2012: 砂丘西側林縁).
168. *Callidiellum rufipenne* (Motschulsky, 1860) ヒメスギカミキリ. 文献: 高橋 (1964, 乾地研付近).
169. *Prionus insularis insularis* Motschulsky, 1857 ノコギリカミキリ. 文献: 高橋 (1962, 乾地研北台地).
170. *Dere thoracica* White, 1855 ホタルカミキリ. 文献: 東 (1939: 浜村砂丘桑畑).
171. *Leptura regalis* (Bates, 1884) オオヨツスジハナカミキリ. 文献: 高橋 (1962: 馬ノ背, 死体を拾った).

172. *Oberea japonica* (Thunberg, 1787) リンゴカミキリ△. 文献: 東 (1939: 浜村).
173. *Chloridolum viride* (Thomson, 1864) ミドリカミキリ. 西村 (1952).
174. *Schwarzerium quadricolle* (Bates, 1884) アオカミキリ. 文献: 生駒 (1955: 和名カクムネアオカミキリで記録).
175. *Mesosa mediofasciata* Breuning, 1942 ヨツボシシロオビゴマフカミキリ. 文献: 高橋 (1964: オアシス付近).
176. *Monochamus alternatus* Hope, 1842 マツノマダラカミキリ. 文献: 野村 (1978).
177. *Psacotha hilaris hilaris* (Pascoe 1857) キボシカミキリ (図 4D). オアシス (1 ex., 20.VII.2010, NT et al.). 【備考】オアシス付近の地表で採集。イチジクやイヌビワなどのクワ科が食樹で、周辺の林からたまたま飛来した個体と思われる。鳥取砂丘新記録。
178. *Anoplophora malasiaca* (Thomson, 1865) ゴマダラカミキリ. 文献: 小川ら (2012: 砂丘オアシス). 備考: 鳥取砂丘新記録。本種も迷入である。食草はイチジク, クワ, ナシなど。周囲からの迷入。
179. *Rhopaloscelis maculatus* Bates, 1877 フタモンアラゲカミキリ. 標本: 砂丘 (1 ex., 29.VII.2011, KI). 備考: 鳥取砂丘新記録。寄主はアカメガシワ, ヌルデなど。
180. *Paraglenea fortunei* (Saunders, 1853) ラミーカミキリ. 文献: 小川ら (2012: 砂丘オアシス). 備考: 鳥取砂丘新記録。食草はカラムシ, ヤブマオ, ムクゲなど。周囲からの迷入。

Family Chrysomelidae ハムシ科

181. *Phyllotreta striolata* (Fabricius, 1803) キスジノミハムシ. 文献: 東 (1939, 学名は *P. vittata* で記載: 浜村).
182. *Aulacophora femoralis* (Motschulsky, 1857) ウリハムシ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近), 東 (1939: 賀露), 高橋 (1964), 野村 (1978), 小川ら (2012: 南側県営駐車場付近).
183. *Aulacophora nigripennis* Motschulsky, 1857 クロウリハムシ. 文献: 野村 (1978).
184. *Lema delicatula* Baly, 1873 キオビクビボソハムシ△. 文献: 東 (1939: 浜村).
185. *Zeugophora annulata* (Baly, 1873) ワモンナガハムシ. 文献: 東 (1939: 和名はセボシハムシとして掲載. 細川).
186. *Luperomorpha funesta* (Baly, 1874) クワノミハムシ. 文献: 東 (1939: 浜村, 賀露, 服部).
187. *Linnaeidea aenea* (Linnaeus, 1758) ルリハムシ. 文献: 東 (1939: 浜村).
188. *Chrysomela vigintipunctata* (Scopoli, 1763) ヤナギハムシ. 文献: 西村 (1952), 高橋 (1964: 合ヶ谷付近).
189. *Altica viridicyanea* (Baly, 1874) コカミナリハムシ. 文献: 高橋 (1962: 研究所北台地, 灯火, オオマツヨイグサ葉上

に多数).

190. *Basilepta pallidulum* (Baly, 1874) ウスイロサルハムシ. 高橋 (1962: 和名はスギサルハムシとして掲載. 浜坂スリバチ付近, 灯火).
191. *Basilepta fulvipes* (Motschulsky, 1860) アオバネサルハムシ. 文献: 高橋 (1964: 東部).

Family Curculionidae ヲウムシ科

192. *Catapionus modestus* Roelofs, 1873 フキヒョウタンゾウムシ. 文献: 高橋 (1964: 和名はタキヒョウタンゾウで記録. 西部造林道).
193. *Scepticus tigrinus* (Roelofs, 1873) スナムグリヒョウタンゾウムシ● M. 文献: S&T (2010: 海浜植物群落), 河上ら (2012: 十六本松付近砂浜), 小川ら (2012: 砂丘東側～オアシス付近, 追後スリバチ付近～オアシス).
194. *Echinocnemus squameus* (Billberg, 1820) イネゾウムシ△. 文献: 東 (1939: 賀露).
195. *Smicronyx madaranus* Kono, 1930 マダラケシツブゾウムシ. 文献: 松下 (1999: アメリカネナシカズラの虫こぶから確認).
196. *Shirahoshizo insidiosus* (Roelofs, 1875) マツノシラホシゾウムシ. 文献: 高橋 (1962: 旧砲台跡).
197. *Sipalinus gigas* (Fabricius, 1775) オオゾウムシ. 文献: 高橋 (1964: 西部).

Family Scolytidae キクイムシ科

198. *Tomicus piniperda* (Linnaeus, 1758) マツノキクイムシ. 文献: 高橋 (1962: 研究所北台地, 灯火).
199. *Orthotomicus laricis* (Fabricius, 1792) カラマツキクイムシ△. 文献: 東 (1939: 賀露).

Order DIPTERA 双翅目 (ハエ目)

Family Culicidae カ科

1. *Culex (Eumelanomyia) brevipalpis* (Giles, 1902) クロウスカ△. 文献: 東 (1939: ウスカ *Culex pipens* の名で記載. 賀露, 浜村).
2. *Armigeres (Armigeres) subalbatus* (Coquillett, 1898) オオクロヤブカ△. 文献: 東 (1939: クロカ *Culex subalbatus* の名で記載. 千代川河口).

Family Tipulidae ガガンボ科

3. *Ctenophora (Dictenophora) pictipennis fasciata* Coquillett, 1898 ベッコウガガンボ. 文献: 西村 (1952).
4. *Tipula (Yamatotipula) aino* Alexander, 1914 キリウジガガンボ. 文献: 小川ら (2012: 砂丘北東側). 備考: 鳥取砂丘新記録.

Family Bibionidae ケバエ科

5. *Bibio rufiventris* (Duda, 1930) メスアカケバエ. 文献: 東 (1939), 高橋 (1964: オアシス付近), 野村 (1978).
6. *Penthetria japonica* Wiedemann, 1830 ヒメセアカケバエ. 文献: 高橋 (1964: オアシス付近).

Family Simuliidae ブユ科

7. *Simulium (Simulium) japonicum* Matsumura, 1931 アシマダラブユ. 文献: 東 (1939: 浜坂のオアシス水辺に多いと記述).

Family Stratiomyidae ミズアブ科

8. *Microchrysa flaviventris* (Wiedemann, 1824) ハラキンミズアブ. 文献: 高橋 (1962: 西部).
9. *Hermetia illucens* (Linnaeus) アメリカミズアブ. 文献: 藤島 (1992: 1989.11.24 撮影の写真を掲載). 備考: 北米またはハワイからの外来種.

Family Bombyliidae ツリアブ科

本科の幼虫はいろいろな昆虫に寄生。

10. *Villa myrmeleonostena* (Baba, 1953) アリジゴクツリアブ ●. 文献: S&T (2010: 海浜植物群落, 砂丘中心). 新潟砂丘ではクロコウスバカゲロウ幼虫に 50% という高率で寄生 (馬場 1953; Baba et al. (1987). 京都府丹後半島の砂丘では寄生率は 15% ほど (Matsura et al. 1998).
11. *Villa limbata* (Coquillett, 1898) スキバツリアブ. 砂丘西側林縁沿い (1 ex., 6.IX.2010, NT et al.). 文献: 野村 (1978), S&T (2010: 海浜植物群落, 砂丘中心).
12. *Ligyra similis* Coquillett, 1898 マエグロツリアブ. 文献: S&T (2010: 砂丘).
13. *Ligyra tantalus* (Fabricius, 1794) クロバネツリアブ. オアシス周辺 (1 ex., 20.VII.2010, NT et al.). 文献: 高橋 (1964), 野村 (1978), 小川ら (2012: 南側県営駐車場付近).

Family Conopidae メバエ科

14. *Aechiconops erythrocephala* (Fabricius) オオズクロメバエ. 砂丘西側林縁 (1 ex., 3.VI.2010, NT et al.). 文献: 高橋 (1962: 研究所付近).

Family Tetanoceridae ヤチバエ科

幼虫は水生・陸生貝類の捕食者。

15. *Sepedon aenescens* Wiedemann, 1830 ヒゲナガヤチバエ. 文献: 高橋 (1962: 十六本松), 野村 (1978).

Family Pyrgotidae デガシラバエ科

幼虫はコガネムシ成虫に内部寄生。

16. *Adapsila fusca* Hendel, 1913. フトハチモドキバエ. 文献:

S&T (2010: 砂丘周辺林).

Family Syrphidae ハナアブ科

17. *Eristalis (Eristalis) tenax* (Linnaeus, 1758) ハナアブ. 文献: 東 (1939: 浜坂の桑畑 (水溜桶) にて幼虫 (オナガウジ) が多数発生と記述), 高橋 (1962: 研究所付近).
18. *Episyrphus balteatus* (de Geer, 1776) ホソヒラタアブ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近).
19. *Metasyrphus (Metasyrphus) ferquens* Matsumura, 1917 ナミホシヒラタアブ. 文献: 小川ら (2012: 追後スリバチ付近～オアシス, 砂丘東側～オアシス, 砂丘西側林縁). 備考: 鳥取砂丘新記録.
20. *Sphaerophoria menthastri* (Linnaeus, 1758) ヒメヒラタアブ. 文献: 猪股・石井 (1934: 砂丘中央付近), 高橋 (1964).
21. *Eristalis (Eoseristalis) japonica* van der Goot, 1964 クロハナアブ. 文献: 猪股・石井 (1934: 松原付近).
22. *Volucella jeddona* Bigot, 1878 ベッコウハナアブ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近).
23. *Paragus (Pandasyopthalmus) haemorrhous* Meigen, 1822 キアシマメヒラタアブ. 文献: 高橋 (1962: キアシマメヒラタアブ *P. tibialis* の名で記載: 旧砲台). 備考: 現在, 学名 *P. tibialis* はニセキアシマメヒラタアブのほうに当てられているので, さらに確認を要する.
24. *Scaeva komabensis* (Matsumura, 1917) コマバムツホシヒラタアブ. 文献: 高橋 (1964: 旧砲台).
25. *Phytomyia zonata* (Fabricius, 1787) オオハナアブ. 文献: 野村 (1978).

Family Agromyzidae ハモグリバエ科

26. *Agromyza oryzae* (Munakata, 1910) イネハモグリバエ. 文献: 東 (1939: 浜坂オアシス).

Family Drosophilidae ショウジョウバエ科

27. *Drosophila (Scaptodrosophila) coracina* Kikkawa & Peng, 1938 クロツヤショウジョウバエ (野村 1986, 1989: 鳥取砂丘西側).
28. *Drosophila (Scaptodrosophila) subtilis* Kikkawa & Peng, 1938 ススバネショウジョウバエ. 文献: 野村 (1986, 1989: 鳥取砂丘西側).
29. *Drosophila (Dorsilopa) busckii* Coquillett, 1901 ヒョウモンショウジョウバエ. 文献: 野村 (1986, 1989: 鳥取砂丘西側).
30. *Drosophila (Sophophora) suzukii* (Matsumura, 1934) オウトウショウジョウバエ. 文献: 野村 (1986, 1989: 鳥取砂丘西側).
31. *Drosophila (Sophophora) lutescens* Okada, 1975 キハダショウジョウバエ. 文献: 東 (1939), 野村 (1986, 1989: 鳥

- 取砂丘西側).
32. *Drosophila (Sophophora) melanogaster* Meigen, 1830 キイロシヨウジョウバエ. 文献: 野村 (1986, 1989: 鳥取砂丘西側). 備考: 外来種.
33. *Drosophila (Sophophora) ficusphila* Kikkawa & Peng, 1938 イチジクシヨウジョウバエ. 文献: 野村 (1989: 鳥取砂丘西側).
34. *Drosophila (Sophophora) rufa* Kikkawa & Peng, 1938 ムナスジシヨウジョウバエ. 文献: 野村 (1986, 1989: 鳥取砂丘西側).
35. *Drosophila (Sophophora) hydei* Sturtevant, 1921 カスリシヨウジョウバエ. 文献: 野村 (1986, 1989: 鳥取砂丘西側). 備考: 外来種.
36. *Drosophila (Sophophora) angularis* Okada, 1956 ヒメホシシヨウジョウバエ. 文献: 野村 (1986, 1989: 鳥取砂丘西側).
37. *Drosophila (Sophophora) brachynephros* Okada, 1956 ナガレボシシヨウジョウバエ. 文献: 野村 (1986, 1989: 鳥取砂丘西側).
38. *Drosophila (Sophophora) bizonata* Kikkawa & Peng, 1938 フタオビシヨウジョウバエ. 文献: 野村 (1986, 1989: 鳥取砂丘西側).
39. *Drosophila (Sophophora) curviceps* Okada & Kurokawa, 1957 マキオシヨウジョウバエ. 文献: 野村 (1986, 1989: 鳥取砂丘西側).
40. *Drosophila (Sophophora) immigrans* Sturtevant, 1921 オオシヨウジョウバエ. 文献: 野村 (1986, 1989: 鳥取砂丘西側).

Family Scathophagidae フンバエ科

41. *Scathophaga stercoraria* (Linnaeus, 1758) ヒメフンバエ. 文献: 東 (1939: 春夏の砂丘縁辺の松林に多しとの記載)

Family Muscidae イエバエ科

42. *Muscina stabulans* (Fallen, 1817) オオイエバエ. 文献: 東 (1939: 浜坂).
43. *Hydrotaea ignava* (Harris, 1780) ヒメクロバエ. 文献: 東 (1939: 多鯰ヶ池北方).
44. *Musca domestica* Linnaeus, 1758 イエバエ. 文献: 東 (1939: 服部, 湖山).

Family Fanniidae ヒメイエバエ科

45. *Fannia canicularis* (Linnaeus, 1761) ヒメイエバエ. 文献: 猪股・石井 (1934: 砂丘中央付近), 東 (1939: 細川, 賀露, 浜坂). 備考: 外来種 (日本生態学会 2002).

Family Calliphoridae クロバエ科

46. *Calliphora nigribarbis* Vollenhoven オオクロバエ. 文献: 東 (1939: ふつう, 代表的動物の1つと記述), 高橋 (1964).
47. *Aldrichina grahami* (Aldrich, 1930) ケブカクロバエ. 文献: 高橋 (1964: 研究所付近).
48. *Lucilia caesar* Linnaeus, 1758 キンバエ△. 文献: 東 (1939: 浜村), 生駒 (1955).
49. *Lucilia (Phaenicia) sericata* Meigen, 1826 ヒロズキンバエ. 文献: 高橋 (1962: 十六本松).
50. *Stomorhina obsoleta* (Wiedemann, 1830) ツマグロキンバエ. 文献: 野村 (1978).

Family Sarcophagidae ニクバエ科

51. *Sarcophila japonica* (Rohdendorf, 1962) ゴヘイニクバエ ●. 文献: 古田 (2005: 砂丘北東海岸). 備考: 環境省 RDB2007 (VU), 鳥取県 RDB (2012: VU).
52. *Metopia (Metopia) stackeibergi* Rohdendorf, 1955 ゼニゴギンバクニクバエ●. 文献: 古田 (2005: 砂丘北東海岸).
53. *Phylloteles stackelbergi* Rohdendorf, 1975 ハネボシスナニクバエ●. 文献: 古田 (2005: 砂丘北東海岸).
54. *Helicophagella melanura* (Meigen, 1826) シリゲロニクバエ. 文献: 生駒 (1955), 高橋 (1964: 砂丘), 古田 (2005: 砂丘北東海岸).
55. *Parasarcophaga (Liosarcophaga) brevicornis* (Ho, 1934) イソニクバエ. 文献: 古田 (2005: 砂丘北東海岸).

Family Tachinidae ヤドリバエ科

幼虫は鱗翅目や鞘翅目昆虫に寄生。

56. *Gonia picea* (Robineau-Desvoidy, 1830) オオズヨコジマハリバエ△. 文献: 東 (1939: 浜坂松林, 賀露).
57. *Tachina (Eudoromyia) nupta* (Rondani, 1859) セスジハリバエ. 文献: 東 (1939: 春夏に砂丘縁辺に多い).
58. *Trigonospila transvittata* (Pandelle, 1896) シロオビハリバエ△. 文献: 東 (1939: 賀露マツ林).

Family Platystomatidae ヒロクチバエ科

59. *Rivellia apicalis* Hendel, 1934 ダイズコンリュウバエ. 文献: 古田 (2005: 砂丘北東海岸).

Family Dolichopodidae アシナガバエ科

60. *Mesorhaga nebulosus* (Matsumura, 1935) マダラアシナガバエ. 文献: 高橋 (1962: 十六本松).

Family Tabanidae アブ科

61. *Chrysops japonicus* Wiedemann, 1828 クロメクラアブ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近).
62. *Tabanus rufidens* Bigot, 1887 ヤマトアブ. 文献: 野村 (1978).

Family Asilidae ムシヒキアブ科

63. *Astochia virgatipes* (Coquillett, 1898) トラフムシヒキ. 文献: 東 (1939), 高橋 (1964), 野村 (1978).
64. *Promachus yesonicus* Bigot, 1887 シオヤアブ. 砂丘西側林縁沿い (1 ♀, 10.VIII.2010, NT et al.). 文献: 東 (1939), 高橋 (1962: 研究所付近), 野村 (1978).
65. *Dicolonus argentatus* Matsumura, 1916 シロイシアブ. 文献: 東 (1939: 浜坂, 代表的な動物の一つ).
66. *Choerades japonicus* Matsumura, 1935 ヒメキンイシアブ △. 文献: 東 (1939: 賀露マツ林).
67. *Machimus atripes* (Loew, 1854) 和名なし△. 文献: 東 (1939: ヒメムシヒキアブ *Astilus atripes* Loew. の名で記載, 和名でこれに該当する種なし. 賀露).
68. *Clinopogon sauteri* Bezzi, 1910 ヒラタムシヒキ. 文献: 高橋 (1962: 西部).
69. *Philonicus albiceps* (Meigen, 1820) シロズヒメムシヒキ. 文献: 高橋 (1962: 研究所付近), 野村 (1978).
70. *Cophinopoda chinensis* (Fabricius, 1794) アオメアブ. 文献: 高橋 (1964).
71. *Laphria mitsukurii* Coquillett, 1899 オオイシアブ△. 文献: 高橋 (1964: 多鯨ヶ池付近).

Family Empididae オドリバエ科

72. *Rhamphomyia (Collinaria) arakawae* Matsumura, 1915 アラカワオドリバエ. 文献: 東 (1939: 4-5月頃砂丘上に多い).
73. *Rhamphomyia (Calorhamphomyia) sapporensis* Matsumura, 1915 セグロホソオドリバエ. 文献: 東 (1939: 賀露, 浜坂).

Order NEUROPTERA 脈翅目 (アミメカゲロウ目)

Family Coniopterygidae コナカゲロウ科

1. *Coniopteryx abdominalis* Okamoto, 1905 キバラコナカゲロウ. 文献: 猪股・石井 (1934: 砂丘凹所の水たまり). 備考: 猪股・石井 (1934) は本種の採集地点として「水辺付近 (砂丘の所々に水溜まり, 池及湧水箇所あり)」と記している. しかし, コナカゲロウ科は通常樹木葉上に生活しており, 水生昆虫ではないので, この記述は少し奇異である. ミズカゲロウ科のものと誤っている可能性がある.

Family Ascalaphidae ツノトンボ科

2. *Hybris subjacens* (Walker, 1853) ツノトンボ. 文献: 高橋 (1962: オアシス), S&T (2010: 砂丘東側駐車場付近).

Family Chrysopidae クサカゲロウ科

3. *Chrysoperla furcifera* (Okamoto, 1914) アカスジクサカゲロウ. 文献: 高橋 (1962: 研究所付近).

4. *Chrysopa formosa* Brauer, 1851 クモンクサカゲロウ. 文献: 野村 (1978).

Family Myrmeleontidae ウスバカゲロウ科

5. *Myrmeleon bore* (Tjeder) クロコウスバカゲロウ●. 文献: 戸田・鶴崎 (2009), S&T (2010). 備考: おもに日本海側の砂浜海岸に広く分布するが, 内陸でも河川敷など露天の開けた砂地があるところには出現するようである. 幼虫 (アリジゴク) はスリバチ状の巣穴をつくる.
6. *Myrmeleon solers* Walker 1853 ハマベウスバカゲロウ● M. 文献: 福本 (1954), 近藤 (1984), 鶴崎 (1993, 2002), 戸田・鶴崎 (2010), 鶴崎・小玉 (2010), S&T (2010). 備考: 成虫は前種に酷似する. 本種の既知生息地は秋田県, 新潟県, 鳥取県, 島根県, 福岡県の5県でしか知られていない (鶴崎 2008). 鳥取県では鳥取砂丘が唯一の生息地である (鶴崎 2007). クロコウスバカゲロウよりも海よりのより開けた場所にスリバチ状の巣穴をつくる.
7. *Myrmeleon formicarius* (Linnaeus, 1767) コウスバカゲロウ. 文献: 高橋 (1962: 研究所北台地で灯火で採集). 備考: 幼虫が神社の床下などにスリ鉢状の巣穴をつくる種で, 鳥取砂丘周辺の林内や建物付近で営巣している可能性はあるが, 著者たちはまだ本種の幼虫の巣穴を確認していない. 鳥取砂丘に関して過去に出版された一般向け書籍・ガイドブックなどに登場する「コウスバカゲロウ」は, 「クロコウスバカゲロウ」または, 「クロコウスバカゲロウ + ハマベウスバカゲロウの混合」の誤同定であるので注意が必要である. これは, アリジゴクの手引き書として広く活用された馬場 (1953) でクロコウスバカゲロウの幼虫が誤ってコウスバカゲロウの名称で記載されていたことが一因である (松良 1987, 1989). 高橋による記録は灯火採集で得られた成虫に基づくもので, 正しく同定された記録として取り上げる.
8. *Heoclisia japonica* (MacLachlan, 1875) オオウスバカゲロウ● M. 文献: 東 (1939), 高橋 (1962), 戸田・鶴崎 (2009), S&T (2010: 砂丘北西海岸段丘, 海浜植物群落), 小川ら (2012: 南側県営駐車場付近). 備考: 内陸の河川河原などでも記録があるようであるが, 主要生息地は砂浜海岸. 巣穴非形成種.
9. *Distoleon nigricans* (Okamoto, 1910) カスリウスバカゲロウ. 文献: 高橋 (1962: 学名は *D. tetragramicus* で掲載). 野村 (1978).
10. *Distoleon contubernalis* (MacLachlan, 1875) コカスリウスバカゲロウ● M. 文献: 文献: 戸田・鶴崎 (2009), S&T (2010: 砂丘地内; 砂丘海水浴場海岸), 小川ら (2012: 砂丘東側~オアシス付近). 巣穴非形成種.
11. *Glenuroides japonicus* (MacLachlan, 1867) ホシウスバカゲロウ. 文献: 東 (1939), 高橋 (1962), 野村 (1978), S&T

(2010: 砂丘温泉).

Order HYMENOPTERA 膜翅目 (ハチ目)

Family Tenthredinidae ハバチ科

1. *Allantus luctifer* (Smith, 1874) ハグロハバチ. 文献: 東 (1939: 多鯨ヶ池付近), 高橋 (1964).
2. *Athalia rosae ruficornis* Jakovlev, 1898 カブラハバチ. 文献: 東 (1939: 細川村ダイコン害虫).
3. *Athalia infumata* (Marlatt, 1898) セグロカブラハバチ. 文献: 高橋 (1964: 研究所付近).
4. *Lagidina platycerus* (Marlatt, 1898) ヒゲナガハバチ. 文献: 西村 (1952).

Family Ichneumonidae ヒメバチ科

5. *Temelucha japonica* Ashmead, 1906 キバラアメバチの1種. 文献: 猪股・石井 (1934: キバラヤドリバチ *Tachina fagar* Matsumura で掲載. 海辺付近), 生駒 (1955: キバラヤドリバチ *Temelucha japonica* で掲載). 備考: 現在, 該当種に和名なし.
6. *Ophion luteus* (Linnaeus, 1758) オオアメバチ. 高橋 (1964: 学名は *O. pungens* で掲載. 研究所北台地).
7. *Diplazon laetatorius* (Fabricius, 1781) アカヒラタアブヤドリヒメバチ. 文献: 小川ら (2012: 合せヶ谷スリバチ). 備考: 鳥取砂丘新記録.

Aculeata 有刺類

Superfamily Chrysoidea セイボウ上科

Family Chrysididae セイボウ科

8. *Stilbum cyanurum pacificum* Linsenmaier, 1951 オオセイボウ. 文献: 西村 (1952).

Superfamily Vespoidea スズメバチ上科

Family Formicidae アリ科

寺西 (1933) の記録は東光治氏採集の標本を同氏からの依頼で同定したもので, 東 (1939) のアリの記録も多くはこれの再録である (つまり採集地が同一). 鳥取砂丘内のアリの出現種と分布については岸本・鶴崎 (2011) を参照.

9. *Pachycondyla chinensis* (Emery, 1894) オオハリアリ. 砂丘周辺林~入口草地. 文献: 佐藤ら (2010). K&T (2011: 西側・南側林縁). 備考: ルリアリ, ハリナガムネボソアリとともに砂丘クロマツの伐根に営巣する最優占種の1つ.
10. *Ponera japonica* Wheeler, 1906 ヒメハリアリ. 文献: 佐藤ら (2010).
11. *Cryptopone sauteri* (Wheeler) トゲズネハリアリ. 文献: 佐藤ら (2010).
12. *Polyrhachis lamellidens* F. Smith, 1874 トゲアリ. 文献: 寺西 (1933: 服部), 東 (1939), 野村 (1978).

13. *Lasius talpa* Wilson, 1955 ヒメキイロケアリ. 文献: 佐藤ら (2010). 備考: 砂丘周辺林の林床下に多い.
14. *Lasius (Chthonolasius) umbratus* (Nylander, 1846). アメイロケアリ△. 文献: 寺西 (1933: 浜村), 東 (1939: 浜村: *Lasius umbratus* とともに *L. silvestrii* を記載. 現在, 後種名は前種のシノニムとされる).
15. *Lasius (Dendrolasius) fuliginosus* (Latreille, 1798) クロクサアリ△. 文献: 寺西 (1933: 浜坂新田北), 東 (1939: 浜坂, 賀露).
16. *Lasius (Lasius) japonicus* Santschi, 1941 トビイロケアリ (図 7A-B). 文献: 寺西 (1933: 細川, 服部, 浜坂オアシス, 多鯨ヶ池, 賀露), 東 (1939: 砂丘上で普遍的かつクロオオアリに次いで個体数の多いアリと記載), 高橋 (1962), 佐藤ら (2010), K&T (2011: 周辺すべての林縁と開放砂地部分のみ). 備考: 本種は砂丘中心部の海浜植物群落付近でももっともふつつであるが, 砂丘の集団は他所で採集されたものとは体サイズが小さく, 体色も薄く, 頭部も小さい傾向がみられる (佐藤ら 2010). 砂丘の林縁と開放砂地で最もよく見かけられるアリ.
17. *Paratrechina flavipes* (F. Smith, 1874) アメイロアリ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近). K&T (2011: 追後スリバチと合せヶ谷スリバチの林縁と林内).
18. *Paratrechina sakurae* (Ito, 1914) サクラアリ. 文献: 佐藤ら (2010: 砂丘中心~海浜植物群落). K&T (2011: 林縁・林内, 開放砂地). 備考: 裸地を好む種で, 鳥取砂丘ではコウボウムギ群落, ケカモノハシ群落に営巣が多い.
19. *Formica japonica* Motschulsky, 1866 クロヤマアリ. 文献: 寺西 (1933: 賀露神社裏), 東 (1939), 高橋 (1964). K&T (2011: 開放砂地, 林縁・林内). 備考: 開けた場所の土中に営巣する.
20. *Camponotus (Camponotus) japonicus* Mayr, 1866 クロオオアリ. 文献: 寺西 (1933), 東 (1939), 高橋 (1962); K&T (2011: 西側・南側林縁). 備考: 開けた場所の土中に営巣.
21. *Camponotus (Myrmamblys) tokioensis* Ito, 1912 ウメマツオオアリ. 文献: 寺西 (1933: 賀露神社裏, 細川松林), 東 (1939: 細川松林), K&T (2011: 林縁・林内). 備考: 林縁・林内のアカメガシワ葉上でよくみられる. 枯れ枝, 落枝などに営巣.
22. *Camponotus devestivus* Wheeler, 1928 アメイロオオアリ. 文献: 寺西 (1933: 多鯨ヶ池上砂丘), 東 (1939: 浜村). 備考: 林内生息種.
23. *Camponotus quadrinotatus* Forel, 1886 ヨツボシオオアリ△. 文献: 寺西 (1933: 賀露神社裏), 東 (1939: 賀露).
24. *Ochetellus galaber* (Mayr, 1862) ルリアリ. 文献: 佐藤ら (2010). K&T (2011: 林縁と林内). 備考: 砂丘の中心部の砂地でも営巣が確認される砂丘を代表するアリの1つ.
25. *Crematogaster osakensis* Forel 1900 キイロシリアゲアリ.

- 文献 :K&T (2011: 追後スリバチ林縁・林内).
26. *Monomorium intrudens* F. Smith, 1874 ヒメアリ. 文献 : 佐藤ら (2010).
27. *Aphaenogaster smythiesi japonica* Forel, 1911 ヤマトアシナガアリ. 文献 : 佐藤ら (2010).
28. *Vollenhovia emeryi* Wheeler, 1906 ウメマツアリ△. 文献 : 寺西 (1933: 浜村砂丘上の桑畑), 東 (1939: 浜村砂丘上の桑畑).
29. *Leptothrax congruus* Forel, 1901 ハリナガムネボソアリ. 文献 : 佐藤ら (2010). K&T (2011: 林縁・林内). 備考 : 草地や河川敷などの土中に営巣.
30. *Tetramorium caespitum* (Linnaeus, 1758) トビイロシワアリ. 文献 : 東 (1939: 浜村), 佐藤ら (2010), K&T (2011: 開放砂地と林縁). 備考 : 裸地や草地の周辺の土中に営巣.
31. *Messor aciculatus* (F. Smith 1874) クロナガアリ. 文献 : K&T (2011: 東側林縁, 西側林縁).
32. *Pheidole fervida* F. Smith, 1874 アズマオオズアリ. 文献 : 佐藤ら (2010).
33. *Crematogaster matsumurai matsumurai* Forel, 1901 ハリブトシリアゲアリ. 文献 : 寺西 (1933), 東 (1939: 砂丘周辺林の枯れ枝内で多数の営巣が確認される), 佐藤ら (2010). K&T (2011: 西側と南側林内).
34. *Smithistruma japonica* (Ito, 1914) ヤマトウロコアリ. 文献 : 佐藤ら (2010: 林地).
35. *Pristomyrmex punctatus* (F. Smith 1860) アミメアリ. 文献 : K&T (2011: 周辺すべての林内と林縁, アカメガシワ葉上の花外蜜腺にも集まる).
36. *Solenopsis japonica* Wheeler 1928 トフシアリ. 文献 : K&T (2011: 合せヶ谷スリバチ林内).
37. *Monomorium intrudens* F. Smith 1874 ヒメアリ. 文献 : K&T (2011: 西側 & 南側林内).

Family Pompilidae ベッコウバチ科

真正クモ類を対照とする狩りバチで, クモバチ科とも呼ばれる。

38. *Hemipepsis sinensis* (Smith, 1855) シナハグロベッコウ (= クロベッコウ) △. 文献 : 東 (1939: 浜村, 賀露).
39. *Batozonellus maculifrons* (Smith, 1873) ナミモンベッコウ (= モンベッコウ). 文献 : 東 (1939: 浜坂, 賀露). 備考 : オニグモ類を狩る (山根ら 1999).
40. *Batozonellus annulatus* (Fabricius, 1793) キオビベッコウ. 文献 : 西村 (1952), 野村 (1978). 備考 : オニグモ類を狩る (山根ら 1999).
41. *Episyron kurilense* Lelej, 1990 チシマシロベッコウ (= チシマシロクモバチ). 砂丘中央部 (1 ♀ 1 ♂, 24.VIII.2011, RM). 文献 : 宮永 (2012). 備考 : 鳥取砂丘新記録.
42. *Batozonellus lacertida* (Pallas, 1771) キスジベッコウ. 文

- 献 : 高橋 (1962: 東部).
43. *Pompilus cinereus* (Fabricius, 1775) ハイイロベッコウ (= ハイイロクモバチ). 西側林縁沿い (1 ♀, 6.VII.2010, NT et al.). 備考 : 鳥取砂丘新記録.
44. *Anoplius (Lophopompilus) samariensis* (Pallas, 1771) オオモンクロベッコウ (= オオモンクモバチ). 文献 : 東 (1939: 浜坂), 高橋 (1962), 野村 (1978). 備考 : コモリグモ科など徘徊性のクモを狩る (山根ら 1999). 福井県の観察ではイソコモリグモの住居内に入り狩りをする (藤田 1939).
45. *Anoplius reflexus* (Smith, 1873) アカゴシベッコウ (= アカゴシクモバチ). 砂丘西側林縁沿い (1 ♀, 3.VI.2010, NT et al.; 1 ♀, 6.VII.2010, NT et al.). 文献 : 猪股・石井 (1934: 和名はアカホシベッコウとして掲載. 中央付近), 東 (1939: 和名アカホシベッコウ. 浜村, 賀露, 浜坂); 高橋 (1962: 和名アカゴシベッコウ), 野村 (1978), 小川ら (2012: 砂丘オアシス).
46. *Anoplius eous* Yasumatsu, 1936 アケボノベッコウ. 文献 : 高橋 (1962: 西部).

Family Mutillidae アリバチ科

雌雄の形態差が目立つ。雌はどの種も無翅で地表を徘徊するのでアリと間違えられやすい。胸部が赤くて, アリらしくない触角 (アリの触角は基部側の柄節とよばれる部分が長く, 中央付近で垂直に折れ曲がっているように見える) をもっていればアリバチ科だと考えてよい。雌は腹端に棘針をもち, 刺すので, 素手でさわらないことに注意したい。雄には毒針はない。

アナバチ類, ハナバチ類, ベッコウバチ類などの幼虫や蛹に外部捕食寄生をおこなう。鳥取砂丘からは下記の5種が記録されているが, 本類には識別の難しい種が多く, 過去の記録には同定が間違っているものが含まれている可能性が高い。最近の調査で採集されているルイスヒトホシアリバチとフタオビアリバチについては寺山ら (2011) に基づいて同定した。

47. *Bischoffitilla ardescens* (Smith, 1873) トゲムネアリバチ. 文献 : 高橋 (1962: 同定に確信なしとある : 多鯨ヶ池付近, 砂丘のいたるところでよく見かけると記述).
48. *Bischoffitilla pungens* (Smith, 1873) ムネアカアリバチ. 文献 : 東 (1939: 夏秋の砂丘上に多い砂丘の代表的種の1つとの記載).
49. *Smicromyrme lewisi* Mickel, 1935. ルイスヒトホシアリバチ●. 文献 : 野村 (1978), S&T (2010: 砂丘西側林縁), 小川ら (2012: 砂丘北東側～オアシス周辺, 南側県営駐車場付近. 砂丘西側林縁. 備考 : ツチスガリ類 (ジガバチ科) に労働寄生するといわれている。鳥取砂丘では秋季に砂地地表を徘徊している雌をよく見かけた。
50. *Nemka wotani* (Zavattari, 1913) フタオビアリバチ●. 鳥

取砂丘 (1♂, 6.VII.2010, NT et al.), 砂丘西側林縁ハマゴウ群落 (1♂, 10.VIII.2010, NT et al.). 備考: 鳥取砂丘新記録.

51. *Neptrogaspidia pustulata* (Smith, 1873) フタホシアリバチ. 文献: 野村 (1978).

Family Scoliidae ツチバチ科

比較的大型の長い腹部をもつハチで、春から秋にかけての日中、鳥取砂丘の林縁沿いの草本群落の周囲の地表近くを低く飛び回るのでよく目だつ昆虫である。雄は雌よりやや小型で、腹部が細長く、触角が長いので、野外でも雌雄の識別は容易。幼虫はコガネムシ科やクワガタムシの幼虫に外部寄生する (山根ら 1999)。ハチの毒針は産卵管の変形であるため刺すのは雌のみであるが、ツチバチ類の雄の腹端の末端には棘があり、これに刺されることがある (宮野 2004) ので注意が必要 (雄も刺す唯一のハチ)。

52. *Megacampsomeris grossa matsumurai* (Fabricius, 1804) オオハラナガツチバチ. 砂丘中央部 (2♀, 24.VIII.2011, RM). 砂丘西側林縁 (1ex. 写真, 17.V.2005, YK: オオウスバカゲロウに捕らえられていた). 文献: 野村 (1978). S&T (2010: 海浜植物群落, 砂丘中心), 宮永 (2012).
53. *Megacampsomeris schulthessi* (Betrem, 1928) シロオビハラナガツチバチ. 西側林縁沿い (1♂1♀, 18.V.2010, NT et al.; 2♂, 3.VI.2010, NT et al.), 砂丘中央部 (1♀1♂, 24.VIII.2011, RM), 砂丘中央部 (1♀1♂, 24.VIII.2011, RM). 文献: 東 (1939) 高橋 (1962), 小川ら (2012: 追後スリバチ付近~オアシス), 宮永 (2012). 備考: 現在, 鳥取砂丘で最も個体数が多くみられるツチバチ。
54. *Campsomeriella annulata* (Fabricius, 1793) ヒメハラナガツチバチ. 西側林縁沿い (1♀, 18.V.2010, NT et al.; 1♀, 3.VI.2010, NT et al.). 砂丘中央部 (2♀, 24.VIII.2011, RM). 文献: 猪股・石井 (1934), 東 (1939), 高橋 (1962: 西部, 多鯨ヶ池付近), 宮永 (2012). 備考: スジコガネ類・マメコガネ類などの幼虫に寄生 (山根ら 1999).
55. *Carinoscolia melanosoma fascinata* (Smith, 1873) アカスジツチバチ. 東 (1939: 学名は *Scolia vittifrons* で掲載. 浜坂, 浜村). 備考: クワガタムシ類幼虫に寄生.
56. *Scolia (Scolia) histrionica japonica* Smith, 1873 オオモンツチバチ●. 西側林縁沿い (1♂1♀, 6.VII.2010, NT et al.; 1♂, 10.VIII.2010, NT et al.; 4♂, 6.IX.2010, NT et al.). 合ヶ谷スリバチ周辺 (6♂2♀, 5.X.2010, NT et al.). オアシス周辺 (2♀, 20.VII.2010, NT et al.). 砂丘中央部 (5♂, 10.VIII.2011, RM, 1♂, 17.VIII.2011, RM, 20♂, 24.VIII.2011, RM). 文献: 猪股・石井 (1934), 東 (1939: 浜坂オアシス東方), 高橋 (1962), 野村 (1978), 小川ら (2012: 南側県営駐車場付近), 宮永 (2012). 備考: ヒメコガネ類幼虫に寄生.

57. *Scolia (Discolia) decorata ventralis* Smith, 1873 コモンツチバチ. 西側林縁沿い (3♂, 10.VIII.2010, NT et al.; 1♂, 6.IX.2010, NT et al.). 文献: 野村 (1978). 備考: ヒメコガネ類幼虫に寄生.

58. *Scolia oculata* Matsumura キオビツチバチ. 文献: 東 (1939: キスジツチバチ *Campsomeris lindeni* の名で掲載. 学名未確認であるが, 和名から本種に該当と推定した. 浜坂). 備考: コガネムシ幼虫に寄生.

Family Tiphiidae コツチバチ科

この科に属するハチは、コガネムシ科、ハンミョウ科などに外部寄生する (山根ら 1999)。次の1種が記録されている (種名が決定されていないが、掲載しておく)。

59. *Methocha* sp. ツヤアリバチ sp. 文献: S&T (2010: 海浜植物群落). 備考: ツヤアリバチ類はハンミョウ類の幼虫に寄生. *Methocha japonica* Yasumatsu, 1931 ツヤアリバチと *M. yasumatsui* Iwata, 1931 ホソツヤアリバチの2種が本州に分布するが、いずれの種に該当するかは未確認 (S&T 2010).

Family Eumenidae ドロバチ科

60. *Anterhynchium flavomarginatum micado* (Kirsch, 1873) オオフタオビドロバチ. 砂丘中央部 (1♀1♂, 24.VIII.2011, RM). 文献: 東 (1939: 賀露), 宮永 (2012).
61. *Eumenes fraterculus* Dalla Torre, 1894 キボシトックリバチ. 西側林縁沿い (1 ex., 10.VIII.2010, NT et al.). 文献: 東 (1939: 賀露), 高橋 (1964: 研究所付近).
62. *Eumenes micado* Cameron, 1904 ミカドトックリバチ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近). 備考: 各種のガの幼虫を狩る (山根ら 1999).
63. *Euodynerus nipanicus* (Schulthess, 1908) ミカドドロバチ. 標本: 砂丘中央部 (1♀1♂, 24.VIII.2011, RM). 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺), 高橋 (1964: オアシス付近), 宮永 (2012). 備考: ハマキガなど小蛾類の幼虫を狩る (山根ら 1999).
64. *Stenodynerus frauenfeldi* (Saussure, 1867) チビドロバチ. 文献: 高橋 (1964: オアシス付近).
65. *Oreumenes decoratus* (Smith, 1852) スズバチ. 文献: 高橋 (1962: 研究所付近). 備考: シャクガ科幼虫を狩る (山根ら 1999).

Family Vespidae スズメバチ科

66. *Polistes rothneyi iwatai* van der Vecht, 1968 キアシナガバチ. 文献: 小川ら (2012: 砂丘周辺林~入口草地). 備考: 盛夏に砂丘の中心部でも見られる.
67. *Polistes jadwigae jadwigae* Dalla Torre, 1904 セグロアシナガバチ. 西側林縁沿い (1w, 2010.8.10, NT et al.). 砂丘中央部 (2♀w, 24.VIII.2011, RM). 文献: 高橋 (1962), 野村

(1978). S&T (2010), 宮永 (2012). 備考: 砂丘周辺林~入口草地. 盛夏に砂丘の中心部でも見られる。

68. *Polistes nipponensis* Pérez キボシアシナガバチ. 文献: 猪股・石井 (1934), 高橋 (1962).
69. *Polistes chinensis antennalis* Perez, 1905 フタモンアシナガバチ. 文献: 西村 (1952), 高橋 (1962), 野村 (1978).
70. *Vespa mandarinia japonica* Radoszkowski, 1857 オオスズメバチ. 文献: S&T (2010: 砂丘周辺林~入口草地).
71. *Vespa analis insularis* Dalla Torre, 1894 コガタスズメバチ. 文献: S&T (2010: 砂丘周辺林~入口草地).
72. *Vespa ducalis* Smith, 1852 ヒメスズメバチ. 文献: 東 (1939: 賀露砂丘に多し). S&T (2010: 砂丘周辺林~入口草地).
73. *Vespa simillima xanthoptera* Cameron, 1903 キイロスズメバチ. 文献: 東 (1939: 賀露). S&T (2010: 砂丘周辺林~入口草地).
74. *Vespula flaviceps lewisii* (Cameron, 1903) クロスズメバチ. 文献: 東 (1939: 浜坂), 高橋 (1962), 野村 (1978).

Apoidea ミツバチ上科

Family Sphecidae アナバチ科

75. *Sceliphron (Sceliphron) madraspatanum kohli* Sickmann, 1894 キゴシジガバチ. 文献: 西村 (1952).
76. *Trypoxylon (Trypoxylon) petiolatum* Smith, 1857 ナミジガバチモドキ△. 文献: 東 (1939: 賀露).
77. *Sphex (Sphex) diabolicus flammitricus* Strand, 1913 キンモウアナバチ. 文献: 高橋 (1962), S&T (2010: 海浜植物群落, 砂丘中心). 備考: 砂丘中心部に多数営巣.
78. *Sphex (Sphex) argentatus fumosus* Kohl, 1890 クロアナバチ. 砂丘中央部 (1♂, 5.VIII.2011, RM). 文献: 猪股・石井 (1934: 中央付近), 高橋 (1964: 研究所付近), 宮永 (2012).

Family Nyssonidae ドロバチモドキ科

79. *Bembix niponica* F. Smith, 1873 ニッポンハナダカバチ● M. オアシス周辺 (1♂, 20.VII.2010, NT et al.), 西側林縁沿いソマゴウ群落 (1♂, 10.VIII.2010, NT et al.). 文献: 東 (1939), 西村 (1952), 高橋 (1964), 野村 (1978: ハナダカバチ), 田村 (2010: 有島武郎歌碑付近). 備考: ハエ・アブ類の成虫を狩る. 環境省 RL (2007: NT). 鳥取県 RDB (2002, 2012: VU).
80. *Bembecinus hungaricus japonicus* (Sonan, 1934) ヤマトスナハキバチ (= ヤマトハナダカバチモドキ) ● M. オアシス周辺 (1 ex., 20.VII.2010, NT et al.), 砂丘西側林縁沿い (1 ex., 10.VIII.2010, NT et al.; 1 ex., 8.IX.2010, NT et al.), 合ヶ谷スリバチ周辺 (1 ex., 6.IX.2010, NT et al.), 砂丘中央部 (1♀ 1♂, 5.VIII.2011, RM; 1♀ 2♂, 10.VIII.2011, RM; 6♀ 6♂, 24.VIII.2011, RM). 文献: 高橋 (1962), 野村 (1978), 宮永

(2012). 備考: 砂地に営巣. ハゴロモ, ヨコバイ, キジラミ類を狩る (山根ら 1999).

Family Philanthidae フシダカバチ科

81. *Cerceris japonica* Ashmead, 1904 マルモンツチスガリ 西側林縁沿い (1♂, 10.VIII.2010, NT et al.). 備考: 鳥取砂丘新記録.

Family Colletidae ムカシハナバチ科

82. *Hylaeus (Neosoprosopis) noomen* (Hirashima, 1977) ノウメンハナバチ. 鳥取砂丘中央部 (1♀, 17.VIII.2011, RM; 4♀, 24.VIII.2011, RM). 文献: 宮永 (2012). 備考: 鳥取砂丘新記録. 浦富海岸の城原海岸, 鴨ヶ磯) でも記録された (鶴崎ら 2012).
83. *Colletes (Colletes) esakii* Hirashima, 1958 エサキムカシハナバチ. 文献: 小川ら (2012: 砂丘ユニオン裏). 備考: 砂丘ユニオン裏に営巣地がある. 鳥取砂丘新記録.

Family Halictidae コハナバチ科

84. *Halictus (Seladonia) aerarius* Smith, 1873 アカガネコハナバチ. 砂丘中央部 (1♀, 5.VIII.2010, RM). 文献: 宮永 (2012). 備考: 鳥取砂丘新記録.
85. *Lasioglossum (Evyllaes) frigidum* Sakagami & Ebmer, 1996 シモフリコハナバチ. 砂丘中央部 (7♀ 17.VIII.2010, RM, 4♀, 6.IX.2010, RM, 1♀, 6.IX.2010, RM, 40♀, 24.VIII.2011, RM). 砂丘海水浴場付近 (1♀, 10.VIII.2010, RM). 文献: 宮永 (2012). 備考: 鳥取砂丘新記録. 浦富海岸, 熊井浜でも得られている (宮永 2012).
86. *Lasioglossum (Evyllaes) duplex* (Dalla Torre, 1896) ホクダイコハナバチ. 文献: S&T (2010). 備考: 砂丘入口で確認されている. 岩美町熊井浜でも得られた (宮永 2012).
87. *Sphecodes amakusensis* Yasumatsu & Hirashima, 1951 アマクサハラアカハナバチ. 標本: 鳥取砂丘中央部 (1♀, 6.IX.2010, RM). 文献: 宮永 (2012). 備考: 鳥取砂丘新記録.

Family Megachilidae ハキリバチ科

88. *Euaspsis basalis* (Ritsema, 1874) ハラアカハキリバチヤドリ (= ハラアカヤドリハキリバチ). 標本: 鳥取砂丘中央部 (1♀, 24.VIII.2011, RM). 文献: 高橋 (1964), 宮永 (2012).
89. *Megachile (Chalicodoma) disjunctiformis* Cockerell, 1911 ネジロハキリバチ. 文献: 猪股・石井 (1934: 海辺付近).
90. *Megachile humilis* Smith, 1879 スミスハキリバチ. 砂丘中央部 (1♂, 17.VIII.2010, RM). 砂丘海水浴場付近 (1♂, 10.VIII.2010, RM). 文献: 宮永 (2012). 備考: 浦富海岸城原海岸, 鴨ヶ磯でも確認されている (宮永 2012). 鳥取砂丘新記録.
91. *Megachile kobensis* Cockerell, 1918 コウベキヌゲハキ

- リバチ (= キヌゲハキリバチ) ● M. 砂丘西側林縁沿い (1 ♂, 8.IX.2010, NT et al.). 標本: 砂丘中央部 (15 ♀ 7 ♂, 17.VII.2010, RM; 15 ♀ 7 ♂, 27.VII.2010, RM; 15 ♀ 2 ♂, 6.IX.2010, RM; 24 ♀ 1 ♂, 17.VIII.2011, RM; 27 ♀, 27.VIII.2011, RM, 9 ♀, 10.IX.2011, RM). 福部 (3 ♂ 8 ♀, 10.VIII.2010, RM). 文献: 前田 (2002, 2012), 宮永 (2012). 備考: 鳥取県 RDB (2002, 2012: NT).
92. *Megachile kyotensis* Alfken, 1931 キョウトキヌゲハキリバチ, 文献: 高橋 (1964: 馬ノ背付近).
93. *Megachile nipponica nipponica* Cockerell, 1914 バラハキリバチ. 砂丘海水浴場付近 (1 ♀, 10.VIII.2010, RM), 砂丘中央部 (1 ♀, 17.VIII.2010, RM). 文献: 小川ら (2012: 合せヶ谷スリバチ), 宮永 (2012). 備考: 鳥取砂丘新記録.
94. *Megachile pseudomonticola* Hedicke, 1925 クズハキリバチ. 砂丘海水浴場付近 (1 ♀, 10.VIII.2010, RM). 文献: 宮永 (2012). 備考: 鳥取砂丘新記録.
95. *Megachile tsurugensis* Cockerell, 1924 ツルガハキリバチ. 標本: 砂丘中央部 (1 ♀ 2 ♂, 17.VIII.2010, RM; 2 ♂, 27.VIII.2010, RM; 2 ♂, 6.IX.2010, RM). 文献: 宮永 (2012). 備考: 鳥取砂丘新記録. 浦富海岸鴨ヶ磯でも得られている (鶴崎ら 2012).
96. *Megachile xanthothrix* Yasumatsu & Hirashima, 1964 キバラハキリバチ. 砂丘中央部 (1 ♂, 24. VIII. 2011, RM). 文献: 宮永 (2012). 備考: 鳥取砂丘新記録. 鳥取県 RDB (2012: DD).
97. *Coelioxys brevis* Eversmann, 1852 チビトガリハナバチ. 文献: 高橋 (1964).
- バチ. 文献: 高橋 (1964: 西部造林道).
103. *Nomada japonica* Smith, 1873 ダイミヨウキマダラハナバチ. 文献: 高橋 (1964: 研究所付近).
104. *Bombus (Diversobombus) diversus diversus* Smith, 1869 トラマルハナバチ△. 文献: 東 (1939: 賀露).
105. *Bombus (Bombus) ignitus* Smith, 1869 クロマルハナバチ. 砂丘中央部 (1 ♀ w, 24.VIII.2010, RM). 文献: 東 (1939: 賀露), 西村 (1952), 高橋 (1964), 宮永 (2012).
106. *Bombus (Bombus) hypocrita hypocrita* Perez, 1905 オオマルハナバチ. 文献: 西村 (1952). 生駒 (1955).
107. *Xylocopa appendiculata circumvolans* Smith, 1873 キムネクマバチ (= クマバチ). 砂丘西側林縁沿い (1 ex., 18.V.2010, NT et al.; 1 ♀ 目撃, 10.VIII.2010, NT et al.; 1 ex., 6.IX.2010, NT et al.). 砂丘中央部 (2 ♀, 17.VIII.2010, RM; 2 ♀, 27.VIII.2010, RM; 1 ♀, 6.IX.2010, RM; 1 ♀, 24.VIII.2011, RM). 福部 (1 ♀, 10.VIII.2010, RM). 文献: 高橋 (1962), 野村 (1978). S&T (2010), 宮永 (2012). 備考: 砂丘周辺林のニセアカシアの花に多数飛来。
108. *Apis cerana japonica* Fabricius, 1793 ニホンミツバチ. 一里松 (1 ♂ 2 ♀ w, 3.VI.2010, NT et al.; 1 ♀ w, 16.XI.2010, NT et al.). 砂丘中央部 (1 ♀ w, 17.VIII.2010, RM; 10 ♀ w, 5.VIII.2011, RM). 文献: 小川ら (2012: 合せヶ谷スリバチ). 備考: 鳥取砂丘新記録.
109. *Apis mellifera* Linnaeus, 1758 セイヨウミツバチ. 文献: 東 (1939), 高橋 (1962, 1964), S&T (2010), 小川ら (2012: 追後スリバチ付近~オアシス). 備考: 外来種リスト (日本生態学会 2002) に載っているが, 飼育個体か野生化集団かはわからない。

Family Apidae ミツバチ科

98. *Anthophora pilipes villosula* Smith, 1854 ケブカハナバチ. 文献: 高橋 (1964: 西部造林道, 研究所). 備考: 日本昆虫目録では *A. pillipes* だが, *A. pulmipes* (Pallas) に相当する可能性あり (平嶋・森本 2008).
99. *Amegilla florea florea* (Smith, 1879) スジボソコシフトハナバチ (= スジボソフトハナバチ). 砂丘中央部 (2 ♂ 27.VIII.2010, RM; 2 ♂, 6.IX.2010, RM). 文献: 東 (1939: 和名はシロスジハナバチとして掲載: 多鯨ヶ池北方), 宮永 (2012). 備考: 城原海岸, 鴨ヶ磯でも得られている (宮永 2012).
100. *Amegilla quadrifasciata* (Villers, 1789) シロスジコシフトハナバチ. 標本: 砂丘中央部 (2 ♀, 27.VIII.2010, RM; 1 ♂, 6.IX.2010, RM; 1 ♀, 10.VIII.2011; RM, 4 ♀ 1 ♂, 24.VIII.2011, RM). 福部 (1 ♀, 10.VIII.2010, RM). 文献: 宮永 (2012). 備考: 鳥取砂丘新記録.
101. *Eucera spurcatipes* Perez, 1911 シロスジヒゲナガハナバチ. 文献: 高橋 (1964: 西部造林道, 研究所付近).
102. *Tetralonia nipponensis* Perez, 1911 ニッポンヒゲナガハナ

Order LEPIDOPTERA 鱗翅目 (チョウ目)

砂丘内でみられるチョウはいずれも周辺からの飛来であり, 砂丘の海浜植物群落に生息基盤があるといえる種はみられない。ガ類については増井 (1995) が砂丘砂地や海岸段丘上での灯火採集により, まとまった報告 (133 種) を公表しているが, 海浜性といえる種は含まれていないという。ただし, 周辺のクロマツ林には, キマダラルリツバメのような特筆される種の生息がみられる。

Family Pieridae シロチョウ科

1. *Anthocharis scolymus* Butler, 1866 ツマキチョウ. 文献: 高橋 (1964: 研究所付近).
2. *Eurema mandarina* (de l'Orza, 1869) キタキチョウ. 文献: 東 (1939), 西村 (1952), 高橋 (1962).
3. *Pieris (Artogeia) melete melete* Menetries, 1857 スジグロシロチョウ. 文献: 山陰むしの会 (1994), S&T (2010: 砂丘周辺草地).
4. *Pieris (Artogeia) rapae crucivora* Boisduval, 1836 モンシロ

- チョウ. 文献: 東 (1939), 高橋 (1962: 研究所付近).
5. *Colias erate poliographus* Motschulsky, 1860 モンキチョウ. 文献: 文献: 猪股・石井 (1934: 中央付近), 東 (1939), 西村 (1952), 高橋 (1962), 野村 (1978: ハマゴウ・ハマグルマ群落), 小川ら (2012: 砂丘東側～オアシス付近, 砂丘北東側). 備考: 砂丘の林縁沿いの草本群落の周辺でよく見かけた。マメ科植物が食草で, 砂丘ではおもにニセアカシアから発生していると思われる。
6. *Eurema laeta betheseba* (Janson, 1878) ツマグロキチョウ△. 文献: 東 (1939: 賀露), 生駒 (1955). 備考: 環境省 RDB (VU), 鳥取県 RDB (NT).

Family Lycaenidae シジミチョウ科

7. *Spindasis takanonis* (Matsumura, 1906) キマダラルリツバメ. 文献: 西村 (1952), 山陰むしの会 (1994), S&T (2010: 砂丘周辺林). 備考: 環境省 RDB (NT), 鳥取県 RDB (2002, VU; 2012 NT).
8. *Rapala arata* (Bremer, 1861) トラフシジミ. 文献: 高橋 (1962).
9. *Artopoetes pryeri* (Murray, 1873) ウラゴマダラシジミ. 文献: 西村 (1952).
10. *Lycaena phlaeas daimio* (Matsumura, 1919) ベニシジミ. 目撃: 砂丘西側林縁 (1♂写真, 5.X.2010, NT et al.). 文献: 高橋 (1962: 西部), 野村 (1978: ハマゴウ・ハマグルマ群落), 山陰むしの会 (1994). 備考: 食草はタデ科のスイバ, ギンギンなど。
11. *Zizeeria maha argia* (Menetries, 1857) ヤマトシジミ. 砂丘西側林縁 (1ex. 写真, 18.V.2010, NT et al.). 文献: 高橋 (1962: 研究所付近), 野村 (1978: ハマゴウ・ハマグルマ群落). 備考: 食草はカタバミ科植物。
12. *Everes argiades hellotia* (Menetries, 1857) ツバメシジミ. 文献: 西村 (1952), 高橋 (1962: 研究所内), S&T (2010: 砂丘周辺～海浜植物群落). 備考: 食草はマメ科植物で, 砂丘ではニセアカシアやフジが発生源となっていると思われる。
13. *Celastrina argiolus ladonides* (de l'Orza, 1869) ルリシジミ. 文献: S&T (2010: 砂丘周辺林). 備考: 食草はマメ科植物。ニセアカシアなどが発生源となっていると思われる。
14. *Lampides boeticus* (Linnaeus, 1767) ウラナミシジミ. 文献: 高橋 (1962: 西部草地).

Family Danaidae マダラチョウ科

15. *Parantica sita nipponica* (Moore, 1883) アサギマダラ. 文献: 清末 (2000: 子どもの国園内).

Family Nymphalidae タテハチョウ科

16. *Minois dryas bipunctata* (Motschulsky, 1860) ジャノメチョウ. 文献: 高橋 (1962: 研究所付近), 野村 (1978: 林縁), S&T (2010: 砂丘入口草地).
17. *Ypthima argus* Butler, 1866 ヒメウラナミジャノメ. 文献: S&T (2010: 砂丘入口草地).
18. *Mycalesis gotama fulginia* Fruhstorfer, 1911 ヒメジャノメ. 文献: 野村 (1978: 長者庭スリバチにおそらく迷入).
19. *Neope goschkevitschii* (Menetries, 1857) サトキマダラヒカゲ. 文献: 東 (1939: 和名キマダラヒカゲで記録), 西村 (1952), 小川ら (2012: 追後スリバチ付近～オアシス).
20. *Lethe diana diana* (Butler, 1866) クロヒカゲ. 文献: 高橋 (1964).
21. *Fabriciana adippe pallescens* (Butler, 1873) ウラギンヒョウモン. 文献: 猪股・石井 (1934: 中央付近).
22. *Apatura metis substituta* Butler, 1873 コムラサキ. 文献: 西村 (1952).
23. *Cynthia cardui* (Linnaeus, 1758) ヒメアカタテハ. 文献: 野村 (1978: ハマゴウ・ハマグルマ群落), S&T (2010: 砂丘入口～中心).
24. *Vanessa indica* (Herbst, 1794) アカタテハ. 文献: 東 (1939), 高橋 (1962: 研究所北台地).
25. *Polygonia c-aureum c-aureum* (Linnaeus, 1758) キタテハ. 文献: 高橋 (1962: 旧砲台).
26. *Neptis sappho intermedia* W. B. Pryer, 1877 コミスジ. 文献: S&T (2010: 砂丘周辺林).

Family Papilionidae アゲハチョウ科

27. *Graphium sarpedon nipponum* (Fruhstorfer, 1903) アオスジアゲハ. 文献: 東 (1939), 高橋 (1962: 東部, 中央部).
28. *Papilio protenor demetrius* Stoll, [1782] クロアゲハ. 文献: 猪股・石井 (1934: 中央付近), 高橋 (1962).
29. *Papilio helenus nicconicolens* Butler, 1881 モンキアゲハ. 文献: 西村 (1952).
30. *Papilio machaon hippocrates* C. & R. Felder, 1864 キアゲハ. 文献: 東 (1939), 高橋 (1962).
31. *Papilio xuthus* Linnaeus, 1767 ナミアゲハ. 文献: 高橋 (1962: 研究所内), 小川ら (2012: 砂丘東側入口付近).

Family Hesperidae セセリチョウ科

32. *Thoressa varia* (Murray, 1875) コチャバネセセリ. 文献: S&T (2010: 砂丘周辺林).
33. *Parnara guttata guttata* (Bremer et Grey, 1852) イチモンジセセリ. 文献: 東 (1939), 西村 (1952), 高橋 (1964).
34. *Pelopidas mathias oberthueri* Evans, 1937 チャバネセセリ. 文献: 高橋 (1962), 野村 (1978: ハマゴウ・ハマグルマ群落), 野村 (1981: ハマゴウ・ハマグルマ群落).
35. *Polytremis pellucida pellucida* (Murray, 1875) オオチャバ

ネセセリ. 文献: 猪股・石井 (1934: 中央および松原付近).

Family Ctenuchidae カノコガ科

36. *Amata fortunei* (Orza, 1869) カノコガ. 文献: 東 (1939: 浜坂観測所跡).

Family Tortricidae ハマキガ科

37. *Cerace xanthocosma* Diakonoff, 1950 ビロードハマキ. 文献: 西村 (1952).
38. *Archips oporanus* (Linnaeus, 1758) マツアトキハマキ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
39. *Homona magnanima* Diakonoff, 1948 チャハマキ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 砂丘西側林縁).
40. *Adoxophyes honmai* Yasuda, 1988 チャノココクモンハマキ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
41. *Loboschiza koeniganus* (Fabricius, 1775) センダンヒメハマキ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
42. *Cryptophlebia ombrodelta* (Lower, 1898) アシプトヒメハマキ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).

Family Zygaenidae マダラガ科

43. *Pidorus atratus* Butler, 1977 ホタルガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).

Family Thyrididae マドガ科

44. *Striglina cancellata* (Christoph, 1881) アカジマドガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).

Family Pyralidae メイガ科

45. *Scirpophaga incertulas* (Walker, 1863) イッテンオオメイガ. 文献: 東 (1939: 和名はサンカメイガとして掲載: 賀露). 備考: 外来種.
46. *Chilo suppressalis* Walker ニカメイガ△. 高橋 (1964: ゴルフ場).
47. *Crambus argyrophorus* Butler, 1878 シロスジツトガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
48. *Beopediastria mixtalis* クロフタオビツトガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
49. *Parapediasia teterrella* (Zinchen, 1821) シバツトガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁). 備考: 北米原産の外来種.
50. *Platytes ornatella* (Leech, 1889) ナガハマツトガ. 文献: 高橋 (1964), 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
51. *Ancylolomia japonica* Zeller, 1877 ツトガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
52. *Hymenia recurvalis* (Fabricius, 1775) シロオビノメイガ. 文献: 高橋 (1964: ゴルフ場付近). 野村 (1978: 砂丘西側ニセアカシア林縁), 野村 (1981), 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).

53. *Eurrhyarodes accessalis* (Walker, 1859) アヤナミノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
54. *Cnaphalocrocis medinalis* (Guenee, 1854) コブノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
55. *Bocchoris inspersalis* (Zeller, 1852) シロモンノメイガ. 文献: 高橋 (1964: ゴルフ場付近), 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
56. *Tyspanodes striata* (Butler, 1879) クロスジノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
57. *Nacoleia commixta* (Butler, 1879) シロテンキノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
58. *Hedylepta indicata* (Fabricius, 1775) マエウスキノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
59. *Goniorhynchus exemplaris* Hampson, 1898 クロズノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
60. *Goniorhynchus clausalis* (Christoph, 1881) トビヘリキノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
61. *Botyodes diniasalis* (Walker, 1859) タイワンウスキノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
62. *Pleuroptya chlorophanta* (Butler, 1878) ホソミスジノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
63. *Notarcha derogata* (Fabricius, 1775) ワタノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
64. *Palpita nigropunctalis* (Bremer, 1864) マエアカスカシノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 砂丘西側林縁), 野村 (1978: 砂丘北西海岸), 小川ら (2012: 南側県営駐車場付近).
65. *Sinibotys evenoralis* (Walker, 1859) セスジノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
66. *Circobotys aurealis* (Leech, 1889) キベリハネボソノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
67. *Nomophila noctuella* (Denis & Schiffermuller, 1775) ワモンノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
68. *Herpetogramma licarsisalis* (Walker, 1859) クロオビクロノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
69. *Herpetogramma rudis* (Warren, 1892) マエキノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
70. *Herpetogramma luctuosalis zelleri* (Bremer, 1864) モンキクロナメイガ. 文献: 高橋 (1964), (増井 1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
71. *Diasemia accalis* (Walker, 1859) キアヤヒメノメイガ. 文献: 高橋 (1964: 西部汀線), 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
72. *Prodasyncnemis inornata* (Butler, 1879) キムジノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
73. *Nomis albopedalis* Motschulsky, 1861 ホシオビホソノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
74. *Ostrinia furnacalis* (Guenee, 1854) アワノメイガ. 文献:

- 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
75. *Anania verbascalis* (Denis & Schiffermuller, 1775) ヒメトガリノメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
76. *Elophila turbata* (Butler, 1881) ヒメマダラミズメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
77. *Hypsopygia regina* (Butler, 1879) トビイロシママメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
78. *Orthopygia glaucinalis* (Linnaeus, 1758) フタスジシママメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
79. *Endotricha portialis* Walker, 1859 キベリトガリメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
80. *Endotricha olivacealis* (Bremer, 1864) ウスベニトガリメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
81. *Chabula onychinalis* (Guenee, 1854) シロマダラノメイガ△. 文献: 高橋 (1964: ゴルフ場付近).
82. *Dioryctria sylvestrella* (Ratzeburg, 1840) マツノシンマダラメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
83. *Etiella zinckenella* (Treitschke, 1832) シロイチモンジマダラメイガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).

Family Drepanidae カギバガ科

84. *Hypsomadius insignis* Butler, 1877 アカウラカギバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).

Family Geometridae シャクガ科

85. *Xanthorhoe saturata* (Guenee, 1857) フトジマナミシヤク. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
86. *Orthonama obstipata* (Fabricius, 1794) トビスジヒメナミシヤク. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
87. *Evecliptopera decurrens illitata* (Wileman, 1911) セスジナミシヤク. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
88. *Chlorochystis v-ata* (Haworth, 1809) クロスジアオナミシヤク. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
89. *Abraxas miranda* Butler, 1878 コウマダラエダシヤク. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
90. *Parabapta clarissa* (Butler, 1878) ウスアオエダシヤク. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
91. *Plesiomorpha flaviceps* (Butler, 1881) マエキオエダシヤク. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
92. *Chasmia defixaria* (Walker, 1861) フタテンオエダシヤク. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
93. *Culcula panterinaria sychnospilas* Prout, 1930 キオビゴマダラエダシヤク. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
94. *Percnia albinigrata* Warren, 1896 ゴマダラシロエダシヤク. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
95. *Hypomecis crassestrigata* (Christoph, 1881) フトオビエダシヤク. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).

96. *Ascotis selenaria cretacea* (Butler, 1879) ヨモギエダシヤク. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
97. *Scionomia mendica* (Butler, 1879) ソトキクロエダシヤク. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 砂丘西側林縁).
98. *Parepione grata* (Butler, 1878) ウラモンアカエダシヤク. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
99. *Garaeus specular mactans* (Butler, 1878) キバラエダシヤク. 文献: 高橋 (1964: 西部造林道).
100. *Comibaena diluta* (Warren, 1895) ヨツテンアオシヤク. 文献: 高橋 (1964).
101. *Idaea invalida invalida* (Butler, 1879) オイワケヒメシヤク. 文献: 高橋 (1964).
102. *Timandra comptaria* Walker, 1863 コベニスジヒメシヤク?. 文献: 高橋 (1964: コベニスジヒメシヤク *Calothysanis wmpitaria* (sic) で記載. 疑問符付き記録のため, 左記種かどうか不明).

Family Lasiocampidae カレハガ科

103. *Euthrix albomaculata japonica* Lajonquiere, 1978 タケカレハ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
104. *Dendrolimus spectabilis* (Butler, 1877) マツカレハ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).

Family Limacodidae イラガ科

105. *Microleon longipalpis* Butler, 1885 テングイラガ△. 文献: 高橋 (1964: ゴルフ場).

Family Sphingidae スズメガ科

106. *Agrius convolvuli* (Linnaeus, 1758) エビガラスズメ. 文献: 東 (1939), 高橋 (1964), 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
107. *Theretra oldenlandiae* (Fabricius, 1775) セスジズメ. 文献: 高橋 (1964).
108. *Clanis bilineata tsingtauica* Mell, 1922 トビイロスズメ. 文献: 高橋 (1964).
109. *Macroglossum stellatarum* (Linnaeus, 1758) ホウジャク. 文献: 高橋 (1964: 研究所付近), 野村 (1978: ハマゴウ).
110. *Macroglossum saga* Butler, 1878 クロホウジャク. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
111. *Cephonodes hylas* (Linnaeus, 1771) オオスカシバ. 文献: 野村 (1978: ハマゴウ).
112. *Deilephila elpenor lewisii* (Butler, 1875) ベニスズメ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
113. *Theretra japonica* (Boisduval, 1869) コスズメ. 文献: 高橋 (1964), 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
114. *Rhagastis mongoliana* (Butler, 1875) ビロードスズメ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).

Family Notodontidae シャチホコガ科

115. *Neostauropus basalis* (Moore, 1877) ヒメシャチホコ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 116. *Harpyia umbrosa* (Staudinger, 1892) ギンシャチホコ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 117. *Hiradonta takaonis* Matsumura, 1924 タカオシャチホコ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 118. *Spatalia doerriesi* Graeser, 1888 ウスイロギンモンシャチホコ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 119. *Pterostoma sinicum* Moore, 1877 オオエグリシャチホコ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 120. *Gonoclostera timoniorum* (Bremer, 1861) クワゴモドキシャチホコ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).

Family Lymantriidae ドクガ科

121. *Orgyia thyellina* Butler, 1881 ヒメシロモンドクガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
 122. *Laelia gigantea* Butler, 1885 スゲオオドクガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 123. *Ivela auripes* (Butler, 1877) キアシドクガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 124. *Euproctis pulverea* (Leech, 1889) ゴマフリドクガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).

Family Arctiidae ヒトリガ科

125. *Pelosia muscerda tetrasticta* (Hampson, 1766) ホシホソバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
 126. *Pelosia noctis* (Butler, 1881) クロスジホソバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
 127. *Eilema deplana pavescens* (Butler, 1877) ムジホソバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 128. *Eilema japonica japonica* (Leech, 1889) キマエホソバ. 文献: 高橋 (1964).
 129. *Eilema griseola aegrota* (Butler, 1877) キシタホソバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 130. *Cyana hamata* Walker, 1854 アカスジシロコケガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 131. *Miltochrista aberrans* Butler, 1877 ハガタバニコケガ. 文献: 高橋 (1964), 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 132. *Miltochrista striata striata* (Bremer & Grey, 1853) スジベニコケガ. 文献: 高橋 (1964: 馬ノ背付近), 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
 133. *Spilarctia seriatopunctata* Motschulsky, 1861 スジモンヒトリ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 134. *Spilarctia obliquizonata* (Miyake, 1910) フトスジモンヒトリ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 135. *Spilarctia subcarnea* Walker, 1855 オビヒトリ. 文献: 増

井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).

136. *Spilarctia postrubida* (Wileman, 1910) アカヒトリ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
 137. *Spilosoma lubricipeda* (Linnaeus, 1758) キハラゴマダラヒトリ. 文献: 高橋 (1964: 西部), 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 138. *Rhyparioides nebulosus* Butler, 1877 ベニシタヒトリ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 139. *Utetheisa pulchelloides* Hampson, 1907 ベニゴマダラヒトリ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).

Family Nolidae コブガ科

140. *Meganola melancholica* (Wileman & West, 1928) ヨシノコブガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).

Family Gelechiidae キバガ科

141. *Sitotroga cerealella* (Olivier, 1789) バクガ△. 文献: 東 (1939: 賀露). 備考: 外来種.

Family Noctuidae ヤガ科

142. *Anacronicta plumbea* (Butler, 1881) ナマリケンモン. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
 143. *Triaena intermedia* (Warren, 1909) リンゴケンモン. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 144. *Viminia rumicis* (Linnaeus, 1758) ナシケンモン. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
 145. *Cryphia obscura* (Warren, 1909) キノコヨトウ△. 文献: 高橋 (1964: ゴルフ場付近).
 146. *Helicoverpa armigera* (Hubner, 1808) オオタバコガ. 文献: 高橋 (1964). 備考: 外来種.
 147. *Heliothis maritima adaucta* Butler, 1878 ツメクサガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
 148. *Heliothis fervens* Butler, 1881 ニセタバコガ. 文献: S&T (2010: 浜坂 砂丘入口草地). 備考: 新記録. 雄がコーリングで雌を誘引する.
 149. *Agrotis segetum* (Denis & Schiffermuller, 1775) カブラヤガ. 文献: 高橋 (1964: 研究所北台地).
 150. *Ochropleura praecox flavomaculata* (Graeser, 1889) ホソアオバヤガ? 文献: 高橋 (1964: 疑問符付き記載のため, 左記種かどうかは不明).
 151. *Hermonassa cecilia* Butler, 1878 クロクモヤガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
 152. *Sineugraphe longipennis* (Boursin, 1948) オオカバスジヤガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
 153. *Sarcopolia illoba* (Butler, 1878) シロシタヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
 154. *Mythimna turca* (Linnaeus, 1761) フタオビキヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).

155. *Aletia placida* (Butler, 1878) クロシタキヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
156. *Aleria pryeri* (Leech, 1900) ウラギンキヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
157. *Aletia consanguis* (Guenee, 1852) マメチャイロキヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
158. *Pseudaletia separata* (Walker, 1865) アワヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
159. *Acantholeucania loreyi* (Duponchel, 1827) クサシロキヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
160. *Apamea aquila oriens* (Warren, 1911) アカモクメヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
161. *Atrachea nitens* (Butler, 1878) ギシギシヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
162. *Axylia putris* (Linnaeus, 1761) モクメヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
163. *Spodoptera depravata* (Butler, 1879) スジキリヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
164. *Athetis albisignata* (Oberthur, 1879) シロテンウスグロヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
165. *Athetis stellata* (Moore, 1882) ヒメサビスジヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
166. *Oligonyx vulnerata* (Butler, 1878) ベニモンヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
167. *Callopietria juvenina* (Stoll, 1782) ムラサキツマキリヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
168. *Callopietria repleta* Walker, 1858 マダラツマキリヨトウ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
169. *Gelastocera exusta* Butler, 1877 クロオビリンガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
170. *Maliattha signifera* (Walker, 1858) ヒメネジロコヤガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
171. *Maliattha vialis* (Moore, 1882) ネジロコヤガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 砂丘西側林縁).
172. *Protodeltote pygarga* (Hufnagel, 1766) シロフコヤガ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
173. *Trichoplusia ni* (Hubner, 1803) イラクサギンウワバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
174. *Ctenoplusia albostrigata* (Bremer & Grey, 1853) エゾギクキンウワバ△. 文献: 高橋 (1964: ゴルフ場付近).
175. *Acanthoplusia agnata* (Staudinger, 1892) ミツモンキンウワバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
176. *Parallelia arctotaenia* (Guenee, 1852) ホソオビアシブトクチバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
177. *Lagoptera juno* (Dalman, 1823) ムクゲコノハ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
178. *Arcte coerulea* (Guenee, 1852) フクラスズメ△. 文献: 東 (1939: 賀露).
179. *Spirama retorta* (Clerck, 1759) オスグロトモエ△. 文献: 東 (1939: 湖山).
180. *Lygephila maxima* (Bremer, 1861) クビグロクチバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
181. *Oraesia emarginata* (Fabricius, 1794) ヒメエグリバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
182. *Plusiodonta casta* (Butler, 1878) マダラエグリバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
183. *Chrysorithrum amatum* (Bremer & Grey, 1853) カクモンキシタバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
184. *Amphitrogia amphidecta* (Butler, 1879) シロテンツマキリアツバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).
185. *Schrankia separatalis* (Herz, 1905) ハスオビヒメアツバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘西側林縁).
186. *Bomolocha zilla* (Butler, 1879) シラクモアツバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
187. *Hydrillodes repugnalis* (Walker, 1863) ソトウスグロアツバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
188. *Edessena hamada* (Felder & Rogenhofer, 1874) オオシラホシアツバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
189. *Paracolax trilinealis* (Bremer, 1864) ミスジアツバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
190. *Nodaria tristis* (Butler, 1879) ヒゲブトクロアツバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
191. *Bertula spacoalis* (Walker, 1859) シロスジアツバ△. 文献: 東 (1939: 賀露).
192. *Simplicia niphona* (Butler, 1878) オオアカマエアツバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
193. *Herminia arenosa* Butler, 1878 ウスキミスジアツバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜, 西側林縁).
194. *Hipoepa fractalis* (Guenee, 1854) オオシラナミアツバ. 文献: 増井 (1995: 砂丘北東砂浜).

総 括

1) レッドデータブック掲載種

砂浜海岸は、港湾建設や、陸側からの宅地開発、海岸浸食、海岸浸食への対策としてのテトラポッド等による護岸などにより、1950年代頃と比較すると全国的に面積が著しく減少している。また、残っている海浜についても海水浴などのレジャー利用で、海浜植物群落などが人や乗り入れ車輛などによって過度に踏みつけを受けているところも多い。そのため、海浜性の昆虫は生息地や個体数の減少が目立っており、環境省や地方自治体版のレッドデータブックに掲載される種が多い。

鳥取砂丘(浜坂砂丘)は日本最大の海岸砂丘で、主要部

分が特別天然記念物として保護管理されており、またそれ以外のところについても車輛乗り入れが規制されているために、他の海岸と比べると海浜性種が比較的良好に保全されている場所といえる。しかし、草原化対策のための広範囲におよぶ過度の除草や、海浜の過度の清掃による打ち上げ有機物リターの減少、周辺の防風林の過度の伐採など、鳥取砂丘内で見られる希少な海浜性昆虫の保全には不安な材料も多い。

鳥取砂丘から記録のある昆虫のうち、環境省版(2006/2007)のレッドリスト (<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8648>), および鳥取県版(2012)のレッドデータブックに掲載されているのは、それぞれ下記の9種, 18種である(○: 砂丘地内および隣接林内に現在も生息。△: 迷入飛来または狭義の鳥取砂丘以外での記録)

(1) 環境省版レッドリスト(2006/2007): 合計10種(△をのぞくと8種)

絶滅危惧II類(VU): ハラビロハンミョウ○, カワラハンミョウ○, ゴヘイニクバエ○, タガメ△, ツマグロキチョウ△, ヨコミゾドロムシ△(以上6種: 節足動物ではこれ以外にイソコモリグモ○)。

準絶滅危惧(NT): オオヒョウタンゴミムシ○, ハマベツチカメムシ○, キマダラルリツバメ○, ニッポンハナダカバチ○(4種)。

(2) 鳥取県版RDB(2012): 合計26種(△をのぞくと17種)

絶滅危惧I類(CR+EN): ハラビロハンミョウ○(1種)。

絶滅危惧II類(VU): オオヒョウタンゴミムシ○, カワラハンミョウ○, ニッポンハナダカバチ○, ゴヘイニクバエ○, キマダラルリツバメ○, タガメ△, アオヤンマ△(以上7種: 節足動物全体ではこれ以外にイソコモリグモ○)。

準絶滅危惧(NT): ヤマトダラバタ○, ハマスズ○, ハルゼミ○, ハマベツチカメムシ○, コウベキヌゲハキリバチ○, ハマベウスバカゲロウ○, アオモンイトトンボ○, ヨコミゾドロムシ△, ツマグロキチョウ△, アオサナエ△, ホンサナエ△, キイロサナエ△(7種)。

情報不足(DD): ウスバカマキリ○, セグロイナゴ○, キバラハキリバチ○, カワラゴミムシ○, ショウリョウバタモドキ△, ヒメミズカマキリ△, (以上6種: 節足動物全体ではこれ以外にスナヒメハダニ○)。

以上に○をつけた現在でも鳥取砂丘で見られる17種のうち、周辺樹林地に生息するキマダラルリツバメとハルゼミ、オアシスのプールに一時的に発生するアオモンイトトンボ、それとウスバカマキリをのぞく13種はいずれも海浜性種である。レッドリスト掲載種がこれほど多く集中して生息している場所は鳥取県内では他にないと思われる。鳥取砂丘の管理には、これらの種の保全にも配慮する必要があるである

う。

2) 外来種

本リストのうち、外来種に相当するのは異説のあるものを含めて次の12種である(佐藤・鶴崎2010に挙げたものにアオマツムシを追加)。現在のところ、周辺樹林地をのぞく砂丘内でその生息が在来種の生息に脅威となりそうなものは出ていないように思われる。

モンシロチョウ, シバツトガ○, オオタバコガ, バクガ, イッテンオオメイガ(サンカメイガ), ヒメイエバエ, キイロショウジョウバエ, カスリショウジョウバエ, アメリカミズアブ, アトグロホソアリモドキ, カンタン, アオマツムシ。

謝 辞

今回掲載した新規データのうち、鶴崎が関係しているものの多くは鶴崎が鳥取砂丘でおこなっている学生実習の中で得られたものである。2011年の調査データについては別に報告しているが(小川ら2012), 2009年の調査(林内のクモ群集と海浜性昆虫類の調査・参加者: 池原雄太・川戸悟史・仁宮雅弘・家高竜治)と2010年調査(参加者: 田中佑希・森本 宝・石田裕樹・山田恭平)で得られた採集品のデータの一部は本稿に掲載した。(財)自然公園財団鳥取支部の音田研二郎, 阿部千春音の両氏にはオアシスで撮影した貴重なケラの写真を提供いただいた。本研究は2009年度~2011年度の鳥取県環境学術経費(研究課題名: 鳥取砂丘の動物のインベントリー作成と生活史・群集の調査・研究代表者: 鶴崎)による補助を受けておこなわれた。山陰海岸国立公園特別保護区の鳥取砂丘, 浦富海岸鴨ヶ磯, 城原海岸における採集については近畿地方環境事務所より許可(環近地国許100323001号)を, また鳥取砂丘については, 文化庁, 鳥取県教育委員会, 鳥取市教育委員会から文化庁, 天然記念物の現状変更の許可を得た。

文 献

- 馬場金太郎(1953) 蟻地獄の生物誌. 越佐昆虫同好会会報臨時増刊. 107 pp.
- Baba, K., Nagatomi, A., Nagatomi, H. & Evenhuis, N. L. (1987) Redescription of *Villa myrmelenostena* (Insecta, Diptera, Bombyliidae), a parasitoid of ant lion in Japan. *Zoological Science*, 4: 903-911.
- 藤島弘純(編)(1992) 鳥取砂丘の住人たち. — 自然保護の原点—. 富士書店(鳥取市), 162 pp.
- 藤田 衛(1939) イソドクグモの習性. *Acta Arachnologica*, 4: 134-138.
- 福本伸男(1954) ハマベウスバカゲロウの新産地. *新昆虫*,

- 7(2): 50.
- 古田 治 (2005) 鳥取砂丘採集記 — ゴヘイニクバエを求めて. はなあぶ, No. 19, pp. 43–46.
- 後藤和夫 (2004a) 鳥取砂丘でオオヒョウタンゴミムシを採集. ゆらぎあ, No. 22, pp. 16–17.
- 後藤和夫 (2004b) 鳥取砂丘で採集したハンミョウ 2 種. ゆらぎあ, No. 22, pp. 17–18.
- 萩野嘉一・高見知良 (1963) 鳥取砂丘採集記. 砂丘研究, 9: 43–50.
- 英 裕人・英 浩之 (1996) 鳥取県東部のトンボの記録. Futao (フタオ会, 鳥取市), No. 22, pp. 1–12.
- 林 成多 (2011) 鳥取砂丘「オアシス」の昆虫. ホシザキグリーン財団研究報告, 14: 212.
- 林 成多・宮武頼夫・門脇久志 (2011) 鳥取県大山とその周辺地域のキジラミ相. ホシザキグリーン財団研究報告, (14): 269–293.
- 東 光治 (1939) 鳥取地方の砂丘に於ける昆虫相. 関西昆虫学会会報, No. 8, pp. 25–46.
- 日暮卓志 (1993) 因幡のトンボ. すかしば, Nos. 36/40, pp. 9–17.
- 日暮卓志・祖田 周 (1998) 鳥取県のトンボ相 II. すかしば, Nos. 46, pp. 57–63.
- 平嶋義宏 (監修) (1989) 日本産昆虫総目録. 九州大学農学部昆虫学教室, 1767 pp.
- 平嶋義宏・森本 桂 (監修) (2008) 新訂原色昆虫大図鑑第 III 巻. (トンボ目・カワゲラ目・バッタ目・カメムシ目・ハエ目・ハチ目他). 北隆館 (東京), 654 pp.
- 平化躰逸 (1983) 鳥取県岩美郡のトンボ. Gracile (関西トンボ談話会), No. 29, p. 28.
- 平木 教 (1963) 海岸砂丘地におけるコガネムシ類の被害防除に関する基礎的研究. — 成虫の飛翔と環境との関係 —. 因幡のむし, No. 4, pp. 8–9.
- 一澤 圭 (2012) 鳥取砂丘のトビムシ類とササラダニ類. 山陰自然史研究, No. 7, pp. 41–45.
- 生駒義博 (1955) 鳥取砂丘の動物. 砂丘研究, 2: 33–38.
- 稲畑貞美 (1962) 鳥取砂丘昆虫採集記. 砂丘研究, 8: 63–68.
- 猪股修二郎・石井輝士 (1934) 鳥取砂丘地帯に於て採集せられたる昆虫に就て. 生物の研究 (鳥取高農生物同好会), Nos. 3/4, pp. 116–120.
- 井上尚武 (1998) 鳥取砂丘のバッタ目・観察メモ (95). ばったりぎす (日本直翅類学会連絡誌), 119: 46–47.
- 井上重紀 (1962) 海岸砂丘地におけるコガネムシ類の被害防除に関する基礎的研究. — コガネムシ類の幼虫の棲息と植生との関係 —. 因幡のむし, No. 3, pp. 8–9. (卒論要旨)
- 乾 英治 (1962) 海岸砂丘地におけるコガネムシ類の被害防除に関する基礎的研究. — 海岸砂丘地および内陸苗畑において蛍光灯に飛来する成虫と棲息幼虫の関係について —. 因幡のむし, No. 3, pp. 9–10. (卒論要旨)
- 河上康子・林 成多・鶴崎展巨 (2012) 鳥取砂丘と浦富海岸の海岸性甲虫類. 山陰自然史研究, No. 7, pp. 15–20.
- 衣笠弘直 (1972) 鳥取県東部のトンボ. 智頭地域を中心に. 著者自刊 (謄写刷り), 32 pp.
- 岸井 尚・山地 治 (2004) 鳥取県産コメツキムシ採集記録 (1). すずむし, No. 138, pp. 37–40.
- 岸本理紗・鶴崎展巨 (2011) 鳥取砂丘とその周囲の砂防林内のアリ相. 山陰自然史研究, No. 6, pp. 37–44.
- 清末忠人 (2000) 鳥取市内でアサギマダラの採集例. ゆらぎあ, No. 18, p. 33.
- 小林一彦 (1993) ハマスズ・ヒロバネカンタン. pp. 122–124. In: 江原昭三・鶴崎展巨 (編) 鳥取県のすぐれた自然 (動物編) 鳥取県自然保護課. 327 pp.
- 近藤芳五郎 (1961) 海岸砂丘地におけるコガネムシ類の被害防除に関する研究 (I). — クロマツ林地周辺のコガネムシ類の分布 —. 砂丘研究, 8: 21–26.
- 近藤芳五郎 (1962) 鳥取砂丘のコガネムシ類の種類とすみわけについて (一). 因幡のむし, 3: 1–2.
- 近藤芳五郎 (1965) 砂丘のシロアリ. 因幡のむし, Nos. 7/8, pp. 1–2.
- 近藤芳五郎 (1984) ハマベウスバカゲロウの生息について. 因幡のむし, No. 16, pp. 1–2.
- 前田泰生 (2002) ニッポンハナダカバチ・コウベキヌゲハキリバチ. pp. 136–137. In: 鳥取県自然環境調査研究会 (編) レッドデータブックとっとり. 鳥取県生活環境部環境政策課, 214 pp.
- 前田泰生 (2012) コウベキヌゲバチ. p. 111. In: 鳥取県生物学会 (編) レッドデータブックとっとり改訂版. 鳥取県生活環境部環境政策課, 337 pp.
- 増井武彦 (1995) 鳥取砂丘の蛾. 誘蛾燈 (誘蛾会), No. 140, pp. 83–87.
- 松下理一 (1999) アメリカネナシカズラの虫こぶから現れたマダラケシツブゾウムシ. インセクタリアム, 36(12): 378–379.
- 松良俊明 (1987) 日本産巣穴形成型アリジゴクの種名. 昆虫, 55: 543–548.
- 松良俊明 (1989) 砂丘のアリジゴク. 思索社 (東京) 215 pp.
- Matsura, T., Ohno, H. & Sakamoto, M. (1998) Rate of parasitism of the antlion larvae, *Myrmeleon bore* (Neuroptera: Myrmeleontidae) by the bee fly, *Villa myrmeleonostena* (Diptera: Bombyliidae). Entomological Science, 1: 321–325.
- 宮永龍一 (2012) 鳥取県浦富海岸とその周辺の有剣類 (膜翅目) の記録. 山陰自然史研究, No. 7, pp. 21–23.
- 宮野伸也 (編) (2004) あっ! ハチがいろいろ! 世界のハチとハチの巣とハチの生活. 晶文社出版 (東京), 50 pp.
- 永幡嘉之 (1995) 鳥取平野周辺のおサムシの分布資料. すか

- しば, Nos. 41/42. pp. 1-9
- 永幡嘉之 (2002) ハラビロハンミョウ・カワラハンミョウ. pp. 122-123. In: 鳥取県自然環境調査研究会動物調査部会 (編) レッドデータブックとっとり (動物). 鳥取県生活環境部環境政策課. 214 pp.
- 西村公夫 (1952) 砂丘の昆虫. 新昆虫, 5(5): 17-18.
- 日本生態学会 (編) (2002) 外来種ハンドブック. 地人書館 (東京), 390 pp.
- 野村幸弘 (1978) 鳥取砂丘の昆虫類について. 鳥取生物, Nos. 10-13, pp. 13-19.
- 野村幸弘 (1981) 鳥取砂丘に生息する昆虫類調査 (第1報). 鳥取県立博物館研究報告, No. 18, pp. 19-27.
- 野村幸弘 (1986) 鳥取市におけるショウジョウバエについて. 鳥取県立博物館研究報告, No. 23, pp. 1-7.
- 野村幸弘 (1989) 鳥取市におけるショウジョウバエについて (第2報). 鳥取県立博物館研究報告, No. 26, pp. 41-46.
- 小川弘展・野坂舞・橋井菜都美・横山瑞歩・鶴崎展巨 (2012) 鳥取砂丘における2011年の昆虫類調査の記録と“砂丘オアシス”の動物相. 山陰自然史研究, No. 7, pp. 31-40.
- Okada, T. (1988) Taxonomic outline of the family Drosophilidae of Japan. pp. 1-87. In: 岡田豊日 (鈴木邦雄 編) 岡田豊日博士論文選集. 岡田豊日博士論文集刊行会 (富山市), 412 pp.
- 酒井香・藤岡昌介・稲垣政志 (2007) 日本産コガネムシ上科図説. 第2巻 食葉群1. 昆虫文献 六本脚 (東京), 173 pp.
- 酒本浩文 (1963) 海岸砂丘地におけるコガネムシ類の被害防除に関する基礎的研究. — コガネムシ類幼虫の棲息と植生との関係 —. 因幡のむし, No. 4, pp. 9-10.
- 作野友康 (1962) 海岸砂丘地におけるコガネムシ類の被害防除に関する基礎的研究. — 海岸砂丘地並びに内陸におけるコガネムシ類成虫の種類とその飛来について —. 因幡のむし, No. 3, pp. 6-8. (卒論要旨)
- 佐々 勁 (1965) 海岸砂丘地におけるコガネムシ類の被害防除に関する研究. — 砂丘内畑地と林縁における幼虫の分布 —. 因幡のむし, No. 5, pp. 8-9. (卒論要旨)
- Satoh, A., Uéda, T., Enokido, Y., Hori, M. (2003) Patterns of species assemblages and geographical distributions associated with mandible size differences in coastal tiger beetles in Japan. *Population Ecology*, 45: 67-74.
- 佐藤隆士・鶴崎展巨 (2010) 鳥取砂丘の昆虫相 (予報). 鳥取県立博物館研究報告, 47: 45-81.
- 佐藤隆士・田村昭夫・長谷川寿一・國本洗紀・川上 靖 (2007) 鳥取県の直翅系昆虫. 鳥取県立博物館研究報告, 44: 9-36.
- 佐藤隆士・鶴崎展巨・濱口京子・木野村恭一 (2010) 鳥取県のアリ類. 鳥取県立博物館研究報告, No. 47, pp. 27-44.
- 佐藤隆士・小林佳崇・岡田珠美・田中俊平・田中哲也 (2011) 鳥取県内からの2010年のセグロイナゴ *Shirakiacris shirakii* の記録. 山陰自然史研究, 6: 56-58.
- 山陰むしの会 (1994) 山陰のチョウたち. 山陰中央新報社 (松江), 207 pp.
- 杉村光俊・石田昇三・小島圭三・石田勝義・青木典司 (1999) 原色日本トンボ幼虫・成虫大図鑑. 北海道大学図書刊行会 (札幌). 917 pp.
- 高橋 匡 (1962) 鳥取砂丘の環境と昆虫. 砂丘研究, 8: 39-60.
- 高橋 匡 (1963) 鳥取砂丘における昆虫の行動調査. 砂丘研究, 9: 39-42.
- 高橋 匡 (1964) 鳥取砂丘昆虫目録 (第2報). 砂丘研究 10: 29-38.
- 田村昭夫 (2010) フクイアナバチとニッポンハナダカバチの記録. ゆらぎあ, 28: 28.
- 寺西 暢 (1933) 鳥取砂丘の蟻相に就いて. 関西昆虫学会会報, 4: 84-85.
- 寺山 守・須田博久・室田忠男・羽田義任・田埜 正 (2011) 日本のアリバチ. 月刊むし. No. 481: 12-25.
- 戸田賢二・鶴崎展巨 (2010) 鳥取県の海浜性ウスバカゲロウ類の1990-1991年における分布と生息地の砂の粒度. 山陰自然史研究, No. 5, pp. 35-38.
- 轟 裕明 (2003) 湖山池周辺におけるアオモンイトトンボの初記録. 山陰自然史研究, 1: 22-23.
- 鳥取県自然環境調査研究会動物調査部会 (編) (2002) レッドデータブックとっとり. 鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物. 動物編. 鳥取県, 214 pp.
- 鳥取県生物学会 (編) (2012) レッドデータブックとっとり 改訂版 — 鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物. 鳥取県生活環境部公園自然課. 337 pp.
- 鶴崎展巨 (1992) ウスバカゲロウ類. pp. 113-115. In: 藤島弘純 (編) 鳥取砂丘の住人たち. — 自然保護の原点 —. 富士書店 (鳥取市), 162 pp.
- 鶴崎展巨 (1993) ハマベウスバカゲロウ. pp. 134-135. In: 江原昭三・鶴崎展巨 (編) 鳥取県のすぐれた自然 (動物編) 鳥取県自然保護課. 327 pp.
- 鶴崎展巨 (2002) ハマベウスバカゲロウ. p. 121. In: 鳥取県自然環境調査研究会動物調査部会 (編) レッドデータブックとっとり (動物). 鳥取県生活環境部環境政策課. 214 pp.
- 鶴崎展巨 (2007) 日本海の砂浜探訪 イソコモリグモと海浜性巣穴形成アリジゴクを求めて. pp. 16-19. In: 一澤 圭 (編) 企画展「挑戦者たち — 動物の適応進化と性淘汰 —」展示解説書 2007年度 企画展, 鳥取県立博物館, 56 pp.
- 鶴崎展巨 (2008) 鳥根県と福岡県における海浜性アリジゴク (脈翅目: ウスバカゲロウ科) の分布. すかしば, 56: 33-

36.
鶴崎展巨・江澤あゆみ・岸本理紗・岡村和紀・梅原将史 (2008) ハマベツチカメムシの鳥取砂丘からの記録. すかしば, No. 56, pp. 37-38.
- 鶴崎展巨・小玉芳敬 (2010) 岩美町の山陰海岸海浜におけるウスバカゲロウ類の分布. 山陰自然史研究, No. 5. pp. 35-38.
- 鶴崎展巨・田中佑希・森本 宝・石田裕樹・山田恭平 (2012) 鳥取砂丘の2010年の昆虫相調査の記録と有剣ハチ類数種の分布, 山陰自然史研究, No. 7, pp. 25-30.
- 山中捷二 (1955) 鳥取付近のハンミョウ類 (第1報). ヒサマツ, No. 5, pp. 3-7.
- 山根正気・幾留秀一・寺山 守 (1999) 南西諸島産有剣ハチ・アリ類検索図説. 北海道大学図書刊行会 (札幌), 831 pp.

Received March 3, 2012 / Accepted March 8, 2012